

令和 4 年度
特別養護老人ホーム 松寿苑
事業報告

社会福祉法人富田福社会

1. 令和4年度行事報告

4月：実施なし

5月：実施なし

6月：避難訓練

7月：実施なし

8月：流しそうめん、スイカ割り

9月：敬老表彰式、避難訓練、出前ツアー

10月：衆議院議員不在者投票、出前ツアー

11月：お菓子ツアー

12月：避難訓練、餅つき大会、クリスマス会

1月：鏡開き

2月：握り寿司イベント、節分

3月：実施なし

2. 各部署報告

①生活相談員

(1)特養・短期入所月別平均入所者数の推移

	令和 3 年度 特養入所者数	令和 3 年度 短期入所者数	令和 4 年度 特養入所者数	令和 4 年度 短期入所者数
4 月	84.7 人	0 人	94.2 人	1 人
5 月	85.1 人	0 人	97.6 人	0 人
6 月	84.1 人	1.0 人	99.3 人	1 人
7 月	90.2 人	1.0 人	98.7 人	1 人
8 月	93.0 人	1.0 人	96.9 人	1 人
9 月	94.6 人	0 人	94.2 人	1 人
10 月	93.5 人	0 人	92.7 人	0 人
11 月	92.1 人	0 人	93.4 人	0 人
12 月	92.5 人	0 人	92.9 人	0 人
1 月	93.4 人	0 人	94.1 人	1 人
2 月	92.1 人	1.0 人	90.2 人	0 人
3 月	94.8 人	1.0 人	90.1 人	0 人

令和 3 年度平均入所者数

特養：90.9 人

短期：0.2 人 計：91.1 人 前年度比 (-6.6 人)

令和 4 年度平均入所者数

特養：94.6 人

短期：0.3 人 計：94.9 人 前年度比 (+3.8 人)

(2)特別養護老人ホーム月別退所者数推移

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
4月	1人	1人	7人	3人
5月	5人	4人	7人	0人
6月	1人	4人	3人	0人
7月	4人	3人	0人	3人
8月	0人	5人	3人	1人
9月	1人	1人	2人	5人
10月	4人	2人	1人	4人
11月	6人	2人	4人	4人
12月	4人	2人	3人	3人
1月	2人	2人	3人	1人
2月	2人	2人	3人	3人
3月	0人	5人	5人	2人

令和元年度退所者数：30人

令和2年度退所者数：33人

令和3年度退所者数：41人

令和4年度退所者数：28人

(3)月別入所申込件数の推移

	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
4 月	8 件	12 件	3 件	6 件
5 月	7 件	6 件	10 件	1 件
6 月	5 件	6 件	9 件	4 件
7 月	7 件	8 件	10 件	2 件
8 月	0 件	7 件	16 件	6 件
9 月	5 件	11 件	5 件	5 件
10 月	7 件	6 件	5 件	2 件
11 月	9 件	9 件	3 件	5 件
12 月	2 件	7 件	3 件	5 件
1 月	3 件	5 件	1 件	4 件
2 月	7 件	5 件	5 件	8 件
3 月	7 件	11 件	6 件	11 件

令和元年度入所申込件数：93 件

令和 2 年度入所申込件数：76 件

令和 3 年度入所申込件数：48 件

令和 4 年度入所申込件数：43 件

*令和 4 年度においては、申し込み件数は前年度に比べ減少にある。但し、あまり待機者を出ることなくスムーズな入所を実現できている。入所枠の調整を行い、申込件数の多い女性枠を増やしていく。

(4)月別事故等状況報告書件数

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
4月	14件	9件	18件	9件
5月	22件	16件	17件	17件
6月	19件	10件	8件	22件
7月	10件	12件	17件	13件
8月	12件	11件	25件	17件
9月	16件	21件	24件	33件
10月	15件	16件	13件	28件
11月	13件	7件	8件	23件
12月	11件	12件	5件	12件
1月	15件	11件	21件	26件
2月	9件	16件	12件	30件
3月	14件	5件	13件	21件

令和元年度状況報告書件数：170件

令和2年度状況報告書件数：146件

令和3年度状況報告書件数：181件

令和4年度状況報告書件数：251件

(5)介護報酬収益(介護保険請求額、介護サービス費合算、食費、居住費等含)

(1)特別養護老人ホーム

	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度
４月	¥32,705,376	¥33,019,703	¥29,649,349	¥33,322,909
５月	¥33,604,552	¥33,991,975	¥30,745,921	¥35,554,147
６月	¥32,044,225	¥32,963,036	¥29,821,066	¥35,006,940
７月	¥32,837,892	¥34,230,151	¥32,542,774	¥36,048,268
８月	¥34,142,253	¥34,423,686	¥33,612,590	¥35,170,162
９月	¥32,524,975	¥34,526,444	¥33,545,159	¥32,945,260
１０月	¥34,554,230	¥35,777,021	¥34,231,340	¥33,512,334
１１月	¥32,0179,65	¥34,526,371	¥32,699,904	¥33,101,930
１２月	¥32,934,011	¥35,280,621	¥33,735,640	¥34,930,795
１月	¥34,112,403	¥35,592,606	¥34,148,662	¥34,928,133
２月	¥32,438,658	¥31,967,953	¥30,395,614	¥30,377,698
３月	¥34,816,320	¥32,104,528	¥34,505,913	¥33,784,239
合計	¥398,692,860	¥408,384,095	¥389,633,932	¥408,682,815

*昨対比、+19,048,883 である。特養の平均入所者数が、令和３年度の新型コロナによる入所者減少に伴い、増加になったと思われる。令和２年度と比べても大きな収益に差はないのがその証拠である。

ベッドコントロールの為スムーズな入所を行えるような体制づくりが必要である。

(2) 短期入所生活介護(介護予防含む)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
4月	¥490,096	¥0	¥0	¥100,873
5月	¥372,327	¥0	¥0	¥0
6月	¥642,701	¥97,088	¥109,984	¥248,150
7月	¥152,915	¥323,065	¥361,593	¥79,104
8月	¥290,666	¥504,316	¥11,725	¥386,569
9月	¥108,243	¥542,292	¥0	¥366,247
10月	¥152,825	¥684,076	¥0	¥0
11月	¥118,386	¥354,166	¥0	¥27,940
12月	¥410,094	¥346,380	¥0	¥0
1月	¥271,236	¥0	¥0	¥0
2月	¥142,407	¥0	¥42,547	¥0
3月	¥0	¥0	¥312,883	¥0
合計	¥3,151,896	¥2,851,383	¥838,732	¥1,208,883

*昨対比、の+¥370,151増収である。ショートステイに関しては感染予防の観点から緊急性の高い事案以外は原則受け入れを行っていなかったが、今年度からは通常通り受け入れを行っていく予定でいる。

②看護師

令和 4 年度事業報告

月	
4	経管栄養・喀痰吸引研修 胃瘻交換
5	
6	胃瘻交換
7	胃瘻交換 入苑者、職員健康診断 感染症研修会
8	
9	褥瘡予防研修会（前半） 胃瘻交換 コロナワクチン摂取（4 回目）
10	胃瘻交換 インフルエンザ予防接種（利用者全員）
11	インフルエンザ予防接種（職員全員）
12	職員夜勤者健康診断 感染症研修会 ノロウイルス対策研修
1	
2	胃瘻交換 定期健康診断結果報告書 コロナワクチン 3 回目接種
3	褥瘡予防研修会（後半）

③介護職員

<活動内容>

1. 相談員、施設ケア、看護の連携をパソコン内で日々の申し送り、会議録等で密にし、全職員が情報を共有し総合的なサービスを提供。
2. 安全管理委員会、事故防止委員会、感染症委員会が中心となり、利用者様へ啓発、職員へ周知徹底を行い安心して日常を送れるように努めた。
3. 施設ケアマネ、御家族様の御協力のもと、十分なアセスメントを行い御本人様が希望されるクラブ、行事、余暇活動を楽しんで頂いた。
4. 機能訓練士による機能訓練を継続し、介護職員により生活全般の支援を通した残存機能の維持に努めた。
5. 機会が減ったが（コロナ感染予防のため）、外部研修へ参加し（オンライン研修）職員の質の向上を行った。
6. ボランティア、近隣の保育園、婦人会の行事に参加して頂き交流を図る。
（コロナ感染症予防の為中止）

（クラブ活動）

- ・ 感染症対策を図りながら、利用者の個々の趣味を活かしたり、能力の再発見の機会を作り日々の生活に生きがい、楽しみを見つけ充実した生活を送って頂く。又、個々の能力を最大限に引き出し機能の維持向上に努めた。
（茶道クラブ、華道クラブ、音楽クラブ、書道クラブ、手芸クラブ、レクリエーション）

（行事）

- ・ 時節に応じた行事を開催し施設の中でも季節を感じて頂いた。
（コロナ感染予防の為縮小にて実施）
（花見、七夕、夏祭り、運動会、餅つき大会、クリスマス会、初詣、豆まき、ひな祭り）

＜委員会活動＞

○ 事故防止委員会

（活動テーマ） ・ヒヤリハット、アクシデント報告書にもとづいて、早急に原因究明、対策を行い、多角的な視線で事故予防、再発予防に努める。

（活動内容） ・インシデント、アクシデント報告書に基づいてフロア会議を行なった。

・フロア会議にて決定した対応策を、経過観察し評価した。

・定例会議事録にてフロアで評価した結果を再検討し対策を決定した。

・報告書や流れを、分かりやすくなるように検討し変更した。

○ 褥瘡予防委員会

（活動テーマ） ・褥瘡ゼロを目標とし、サービス計画書を作成し情報を共有し可能な限り褥瘡を発生させないことを実践する。

（活動内容） ・計画書及び報告書を改定する。→フォルダーを作成する。

・発生部位をカメラで撮りフォルダーへ保管。

・週1回は経過報告書に記入。

○ 自立支援委員会

（活動テーマ） ・利用者の基本的人権を尊重し、心豊かな生活できることを身体拘束ゼロの目標とし、様々な角度から検証し対策を重ね検討する。

（活動内容） ・各フロアの身体拘束しない対応策の検討、報告。

・スピーチロックの勉強会を行い、周知徹底に取り組んだ。

・各センサーの管理。

○ 記録管理委員会

(活動テーマ) ・再活用でき、明瞭性のある記録物の作成。

(活動内容) ○目的別ケース記録の書き方マニュアルの見直しを行った。

・ケアプランに添った記録を記入する。

・夜間巡回、睡眠状況

・移動・移乗、外出

・面会、レクリエーション

・食事、認知障害、行動障害

・危険な行動、暴力行為

・排泄、入浴

・服薬

・利用者同士のトラブル

○ 感染症委員会

(活動テーマ) ・施設内の環境及び感染症の予防、利用者様の感染症発生時の対応など衛生管理に関し適切な運営が図れることを目的に取り組む。

(活動内容)

・感染予防マニュアルの見直しを行った。

・感染症の会議を毎月行った。

・インフルエンザ、ノロウィルスの感染症の啓発などを行い、予防の意識を高めた。

・新型肺炎コロナ感染症の予防、啓発を行った。

・新型肺炎コロナ感染症が発生した際、関係機関、全施設で連携を取り早期消息に努めた。また、反省点、改善策を会議し再発防止に努めた。

○安全管理委員会

(活動テーマ) ・利用者様が安心して生活できるように転倒防止、設備、備品の管理を行い、物品の整理整頓及び介護機器のメンテナンス等環境整備に努める。

・火災、水害、地震、などの災害時に安全に避難できるように避難訓練を行った。

(活動内容)

・3月、6月、9月、12月に個別服薬内容のチェックを行なった。

- ・新規入所者、の個人状況表の作成を随時実施する

合わせて防災マニュアルの各階名簿に入れる

- ・相談員と新規入所者に対する同意書の有無、作成について確認と作成後各フロア安全委員より個人ケース記録に入れ緊急時救急隊に連絡する資料とする
- ・定期的に火災、地震などを想定して、避難訓練を行った。

④施設介護支援専門員

入所者のケアマネジメント業務の実施

車椅子や自助具の充実

介護保険認定調査委託業務 28 名実施した

令和 4 年度目標について

「ケアプランを中軸とした利用者本位のケアを目指す」

本人の希望、家族の希望を汲み入れたケアプランの作成に努めた。

新型コロナウイルス蔓延予防のためサービス担当者会議は書類提出をもって代替した。

入所者との定期的なコミュニケーションを図り、ニーズの把握に努めた。

車椅子の新規購入及びデイルームのテーブルの購入をおこなった。

職員へのケアマネジメント研修は新入社員、パートを対象に個別に実施した。

入所者のニーズに合わせた外出支援の計画をしたが、新型コロナウイルス蔓延予防の為、当面中止した。

訪問マッサージ、訪問理美容は 3 月より再開している。

自助具や車椅子の確認を行い、自立支援が促進できるよう努めていきたい。

入所者の要介護度の比較

	令和 4 年 3 月	令和 5 年 3 月
要介護 5	16	16
要介護 4	42	43
要介護 3	36	35
要介護 2	0	0
要介護 1	0	0

入所者の平均要介護度

令和 4 年 3 月 3.78

平成 3 年 3 月 3.90

⑤機能訓練

：利用者がその人らしい生活を維持できるよう、本人の有する能力を最大限活用して、身体機能や姿勢、生活行為全般の維持、改善が図れるよう、多職種と共同で機能訓練を実施した。

：その人に合った環境（ベッド、車椅子、自助具等）を考え、日常生活動作やレクリエーション、クラブ等を通じた生活訓練を実施した。

：新型コロナウイルスの中、感染予防対策のため各フロアへの行動制限がある為、リモートや書類にて各フロア及び多職種と連携を取りながら利用者の状況を把握し日常生活動作の支援を行った。

New：奇数月毎に利用者様の身体の状態と機能訓練の要望を各階の担当者と相談し

必要に応じて変更を行う。

※新規利用者や体調不良が続いている方については随時新規作成・変更を行う。

⑥管理栄養士

・多職種で協働し入所者及びサービス利用者の、個々のニーズに合った食事形態、嗜好を踏まえた食事を提供する事に努めた。

・給食会議を通じ、他部署の職員と給食改善に取り組む事ができた。

・栄養ケアマネジメントを通じ、利用者の食事内容を検討する事ができた。

・サービス担当者会議を通じて、入所者の詳細な状態を把握し、情報共有ができた。

・取引業者や保健所のオンライン講習会に参加し、最新の栄養情報や給食衛生管理について研鑽する事ができた。

<令和 4 年度 支出実績>

月	食材料費	委託金（税込）	合計（税込）
4	¥2,386,989	¥2,089,560	¥4,476,549
5	¥2,526,249	¥2,089,560	¥4,615,809
6	¥2,486,385	¥2,089,560	¥4,575,945
7	¥2,474,538	¥2,089,560	¥4,564,098
8	¥2,487,716	¥2,089,560	¥4,577,276
9	¥2,219,844	¥2,089,560	¥4,309,404
10	¥2,451,205	¥2,089,560	¥4,541,205
11	¥2,280,806	¥2,089,560	¥4,370,366
12	¥2,305,699	¥2,089,560	¥4,395,259
1	¥2,364,901	¥2,089,560	¥4,454,461
2	¥2,022,427	¥2,089,560	¥4,111,987
3	¥2,285,085	¥2,089,560	¥4,374,645

＜栄養ケアマネジメント 加算廃止 未実施の場合の減算分＞

(入所者 100 人を 1 年計算)

栄養ケアマネジメント加算	1 単位 10.68	14 単位	¥5,314,400
--------------	------------	-------	------------

＜年間スケジュール実績＞

月	行 事	献 立	おやつ
4	春のイベント食	春のお楽しみ食（弁当）	桜のロールケーキ
5	端午の節句	豆ごはん	柏餅風練切
6	夏バテ防止メニュー	肉そば	おはぎ
7	土用の丑	うなぎ蒲焼	すいかロールケーキ
	七夕	七夕そうめん	七夕おやつ
8		ところてん	水ようかん
9	敬老の日	敬老祝い膳	敬老和菓子
	十五夜	月見メンチカツ	お月見デザート
10	ハロウィン		ハロウィンおやつ
11	秋のイベント食	秋のお楽しみ食（天ぷら）	秋の練切饅頭
12	クリスマス	クリスマスメニュー	クリスマスケーキ
		年越しそば	もちつき
1	お正月	おせち料理	甘酒・練切
	春の七草	七草粥	おしるこ（鏡開き）
2	節分	散らし寿司	節分用鬼の練切
		握り寿司	バレンタインガトーショコラ
3	桃の節句	桜散らし寿司	お雛様おやつ
	お彼岸		ぼたもち

＜特養年間行事＞

月	誕生祝い膳	茶道	
4 月	1 回	2 回	
5 月	1 回	2 回	
6 月	1 回	2 回	
7 月	1 回	2 回	
8 月	1 回	2 回	
9 月	1 回	2 回	
10 月	1 回	2 回	

11 月	1 回	2 回	
12 月	1 回	2 回	
1 月	1 回	2 回	
2 月	1 回	2 回	
3 月	1 回	2 回	

<センター年間行事>

月	誕生 会	茶道	お楽しみ食	手作りランチ (月 2 回)	手作りおやつ (月 3 回)
4 月	1 回	2 回	1 回	焼きそば	ハツ橋
5 月	3 回	2 回	1 回	長崎皿うどん	ミルク焼きもち
6 月	3 回	2 回	1 回	サラダうどん	みかんゼリー
7 月	2 回	2 回	1 回	ツおろしそうめん	ところてん
8 月	2 回	2 回	1 回	冷やし中華	抹茶ゼリー
9 月	1 回	2 回	1 回	とろろご飯 & 豚生姜焼き	みたらし団子
10 月	2 回	2 回	1 回	炊き込みご飯 豚汁	パンポキムス
11 月	2 回	2 回	1 回	鶏つくね団子鍋	チョコバナナクレープ
12 月	2 回	2 回	1 回	味噌煮込うどん	クリスマスケーキ
1 月	2 回	2 回	1 回	ねぎとろ丼	白玉ぜんざい
2 月	1 回	2 回	1 回	きりたんぽ鍋	抹茶団子
3 月	3 回	2 回	1 回	ミートスパゲティ	みたらし団子

昨年よりバイキングを廃止し、手作りランチの回数を 2 回に変更している。
 手作りおやつとともに、出来るだけ利用者様の声を反映したメニューを心がけ
 実施している。

令和 4 年度
デイサービスセンター法華
事 業 報 告

社会福祉法人富田福祉会

令和4年度 デイサービスセンター法華
事業報告

和5年5月

《 前年度月別比稼働率・月別利用者数・月別1日平均利用者数・月別介護給
付費・介護度別利用数 》

【 年度・月別平均稼働率 】 定員 35 名

	令和3年度平均稼働率	令和4度平均稼働率
4月	68.57%	57.14%
5月	70.00%	56.37%
6月	69.78%	55.71%
7月	66.45%	48.35%
8月	65.16%	52.06%
9月	69.60%	51.97%
10月	61.64%	58.13%
11月	60.87%	54.76%
12月	63.09%	45.21%
1月	54.88%	51.78%
2月	52.26%	54.16%
3月	46.13%	55.13%

【 年度・月別利用者数 】

	令和3度利用者数	令和4度利用者数
4月	624名	520名
5月	637名	513名
6月	635名	507名
7月	628名	440名
8月	593名	492名

9月	6 0 9名	4 7 3名
10月	5 6 1名	5 2 9名
11月	5 5 4名	4 6 0名
12月	5 3 0名	3 6 4名
1月	4 6 1名	4 3 5名
2月	4 3 9名	4 5 5名
3月	4 3 6名	5 2 1名

【 年度・月別一日平均利用者数 】

	令和3年度一日平均利用者数	令和4年度一日平均利用者数
4月	2 4名	2 0 . 0 0名
5月	2 4 . 5名	1 9 . 7 3名
6月	2 4 . 4 2名	1 9 . 5 0名
7月	2 3 . 2 5名	1 6 . 9 2名
8月	2 2 . 8 0名	1 8 . 2 2名
9月	2 3 . 4 2名	1 8 . 1 9名
10月	2 1 . 5 7名	2 0 . 3 4名
11月	2 1 . 3 0名	1 9 . 1 6名
12月	2 2 . 0 8名	1 5 . 8 2名
1月	1 9 . 2 0名	1 8 . 1 2名
2月	1 8 . 2 9名	1 8 . 9 5名
3月	1 6 . 7 4名	1 9 . 2 9名

【 年度・月別介護給付費 】

	令和3年度介護給付費	令和4年度介護給付費
4月	6, 0 6 0, 2 5 1円	4, 9 3 0, 7 5 9円
5月	6, 1 3 3, 3 7 5円	4, 8 9 4, 0 0 3円
6月	5, 6 6 4, 3 7 5円	4, 8 6 6, 7 7 8円
7月	5, 9 8 7, 2 0 4円	4, 1 1 9, 2 6 5円
8月	5, 8 5 1, 0 4 5円	4, 6 0 3, 1 2 3円

9月	5, 568, 032円	4, 637, 463円
10月	5, 222, 702円	5, 330, 692円
11月	5, 215, 867円	4, 360, 123円
12月	5, 042, 888円	3, 480, 306円
1月	4, 273, 830円	4, 056, 357円
2月	4, 313, 783円	4, 268, 769円
3月	4, 288, 806円	4, 961, 764円
合計	63, 622, 157円	54, 509, 402円

【 年度・介護度別利用者数 】

	令和3年度介護度別利用者数	令和4年度介護度別利用者数
要支援1	139名	50名
要支援2	823名	914名
要介護1	2, 226名	1, 483名
要介護2	1, 829名	1, 861名
要介護3	959名	809名
要介護4	488名	503名
要介護5	99名	106名
合計	6, 563名	5, 726名

令和4年度の稼働率は平均 53.39%と目標としていた 70%台を上回ることはできなかった。介護給付費も、前年度に比べ、9, 112, 755円の収益減少となった。特に7月と12月はコロナウイルス感染でクラスターが発生した結果、数日間休業となり稼働率が大幅に低下した。コロナが緩和された今後は利用者数を増やすことはもちろんの事、個別機能訓練加算等、算定出来る加算の見直

しが必要である。また、地域の活動交流への積極的参加をする事で、デイサービスセンター法華の知名度を上げる事も重要である。

コロナに関しては引き続き、コロナ予防対策をしっかりと実施し、ご利用者・ご家族に安心・信頼を築けるよう目指していく。

令和 4 年度
ショートステイ 敬寿の里
事業報告

社会福祉法人富田福社会

1. 令和4年度 日課報告

時 間	サービス内容
7 : 0 0	起床、口腔ケア、整容、更衣
8 : 0 0	朝食
9 : 0 0	朝食、下膳、片付け
1 0 : 0 0	入浴
1 1 : 0 0	入浴
1 2 : 0 0	昼食
1 3 : 0 0	下膳、片付け、口腔ケア
1 4 : 0 0	入浴
1 5 : 0 0	おやつ、レクリエーション
1 6 : 0 0	レクリエーション
1 7 : 0 0	夕食準備
1 8 : 0 0	夕食
1 9 : 0 0	夕食、下膳、片付け
2 0 : 0 0	口腔ケア、更衣
2 1 : 0 0	就寝

※ご利用者様の日々の規則正しい生活リズムを崩されないように配慮したサービスのご提供ができました。

2. 令和4年度 行事報告

	行事内容
4 月	昔懐かしの『映画鑑賞会』
5 月	喫茶レク『モーニングサービス』
6 月	絵手紙レク
7 月	カラオケ会
8 月	夏の怪談 朗読劇『耳なし芳一』、夏祭り
9 月	長寿のお祝い『敬老会』、喫茶レク『ティータイム』
1 0 月	(新型コロナウイルス流行のため行事活動を自粛)
1 1 月	秋の味覚ご賞味レク『秋刀魚』&『焼き芋』
1 2 月	クリスマス朗読劇『マッチ売りの少女』 クリスマスケーキ作り
1 月	餅つき、書初め
2 月	お誕生日会、節分豆まき、世紀のマジックショー バレンタインレク『ティータイム【モワルー・オ・シ ョコラ】』

3月	寿司レク（寿司食べ放題）、お花見
----	------------------

※新型コロナウイルスが流行している環境下、感染の状況を観て行事を行わせて

頂きました。密になる環境を避け少人数ずつにて実施しました。

3. 令和4年度 研修報告

	研修内容
4月	介護記録研修「介護記録の書き方」
5月	事故発生等緊急時の対応に関する研修
6月	脱水症対策について(資料配布研修)
7月	排泄アイテムの選び方・使い方勉強会 感染症対策研修「知っているようで知らない感染対策」
8月	非常災害時の対応に関する訓練及び研修（昼間想定） 医療基礎知識研修「医療連携に必要な基礎知識」
9月	事故防止委員会研修「ヒヤリハットの重要性について」 アンガーマネージメント研修「怒りの感情と付き合うために」
10月	介護記録研修「介護記録の書き方」 感染症対策研修「知っているようで知らない感染対策」 嚥下の研修
11月	嘔吐物処理に関する実施研修
12月	虐待防止・身体拘束適正化・接遇向上研修「ヒヤリハット研修」
1月	虐待防止研修
2月	非常災害時の対応に関する訓練及び研修（夜間想定）
3月	薬学基礎研修「薬と上手な付き合い方」

※施設内研修を定期的実施すると共に、外部機関の研修（オンライン研修）に参加し専門的な知識習得職員のスキルアップに努めました。

4. 令和4年度 月別請求額実績

	目標	令和3年度	令和4年度
4月	¥12,670,000	¥10,521,470	¥10,564,597
5月	¥13,090,000	¥10,835,073	¥11,329,071
6月	¥12,670,000	¥10,974,960	¥11,151,179
7月	¥13,090,000	¥11,278,262	¥12,246,700
8月	¥13,090,000	¥10,559,648	¥11,987,943
9月	¥12,670,000	¥9,984,914	¥11,630,847
10月	¥13,090,000	¥10,322,565	¥10,532,282
11月	¥12,670,000	¥9,988,734	¥10,378,163
12月	¥13,090,000	¥10,011,462	¥9,999,035
1月	¥13,090,000	¥10,290,657	¥8,852,110
2月	¥11,830,000	¥9,918,841	¥8,540,566
3月	¥13,090,000	¥11,515,577	¥8,674,146
合 計	¥154,140,000	¥126,202,163	¥125,886,639

※昨年度同様、新型コロナウイルスが猛威をふるっている状況下で予約のキャンセル等が変わらずあり、稼働率も50%～70%代にて推移する結果となりました。

感染対策として、職員には出勤前の自宅での検温の実施。出勤時うがい器でのうがい、手指消毒の実施。定期的なPCR・抗原検査の実施。外食の規制、不要不急の外出の規制、県をまたいだ移動の規制等を行い感染予防に努め、ご利用者様へは、ご利用日時の1週間前よりご自宅での検温とご利用日の朝の抗原検査による陰性確認後のご利用へのご協力、そして送迎時の検温等を行い、陽性や発熱症状が確認された場合はご利用をご遠慮して頂く等の感染予防の徹底に努めました。これにより稼働率低下へつながっていることは考えられますが、現在までに、施設内での新型コロナウイルスの感染は発生しておらず、サービスの休止をすることなく運営できていることはこの対策の賜物と考えます。

また、介護業界全般の傾向として、特別養護老人ホーム等の入所施設に以前よりも待期期間が短く入所できることがショートステイのご利用のニーズの低迷化に繋がっていることも考えられます。

今後は、世間の感染状況に合わせた予防対策を継続しつつ、ご利用者様に安心してご利用頂ける施設を念頭に置き、サービスとレクリエーションの充実を図り『また来たい施設』をモットーにリピート利用の集客を増やし稼働率・収入の向上に努めていきたいと考えます。

5. 主な取引先

【 中川区 】

フラワー園 居宅介護支援事業所	ケアプラン あっぷ	みず里 居宅介護支援事業所
ケアプラン ネクストホープ	サフランのいえ 居宅介護支援事業所	ケアプラン 筒井
ツクイ名古屋中川荒子	にじのさと中川 居宅介護支援事業所	ニチイケアセンターなごや 西部
ケア・コーディネイトきょう りつ	グリーンナリー 居宅介護支援事業所	さわやからいふ中川
一色診療所 居宅介護支援事業所	中川区西部いきいき支援セン ター分室	居宅介護支援事業所あらこ
ぽかぽかケアサポート	中川区ケアマネージメントセ ンター	グリーンハンズ 居宅介護支援事業所
居宅介護支援 つぶら	オーネスト戸田川	ケアプラン 導夢
プラーナ居宅介護支援事業所	居宅介護支援事業所 太陽	ケアプラン まつお
ケアプラン和心かぞく	ケアプラン まつば	居宅介護支援事業所松寿苑
助光介護相談センター	中川区介護保険事業所	はる 介護サービス計画事業所

【 中村区 】

中村区 ケアマネージメントセンター	サルバーレ 居宅介護支援事業所	エミール八田 ケアプランセンター
介護相談室 絆サポート	介護支援センターひまわり	おはなケアマネジメント
ケアプラン 日吉の郷	ケアプランセンターさくら	ケアマネパーク
中村ケアプランセンター そよ風	大菅病院ケアプランセンター	鵜飼病院 居宅介護支援事業所
ひだまり介護		

【 熱田区 】

ケアプラン ささゆり	ニチイケアセンターひびの	しろとりケアプラン
ケアプラン ぼちぼち	ハッピー居宅介護支援事業所	

【 港区 】

介護支援センター東茶屋	セントケア港	港区介護支援事業所
ケアプランセンター名港	ケアプランセンターかいこう	愛居宅介護支援事業所
ウッドベル 居宅介護支援事業所	小さな手居宅介護支援事業所	

【 蟹江町、その他 】

カリヨンの郷 居宅介護支援事業所	居宅介護支援事業所 うちだばし	あたたかい心 居宅介護支援事業所
介護の砦	ケアプランみなとも弥富	ケアプラン スマイル
福祉の里 佐屋		

※ご利用者の確保を図るために、窓口となる居宅介護支援事業所のケアマネ様と良好な関係を築き、一人でも多くの新規ご利用者の獲得、また新たな居宅介護支援事業所へのアプローチを継続して取り組んでいきたいと思っています。

6. 栄養士

- ・他業種協力のもと、ご利用者様お一人お一人に合った食事内容を検討し、提供するよう努めた。
- ・給食会議を定期的に行い、委託業者・他業種連携のもと配膳方法の見直しや給食内容の改善に努めた。
- ・コロナ禍で密にならないように対策しながら、少人数で各フロアごとで出来るイベントを行なった。
- ・ご利用者様のニーズを知るため 11 月に嗜好調査を行い、委託業者とも結果を共有し食事内容と質の向上に努めた。
- ・長期利用者様・生活習慣病等の方を優先して定期的に体重測定を行って変化を観察し急な体重の変化に注意した。
- ・誕生日・季節のイベント時（ひな祭り、節分、子供の日、七夕、敬老の日、クリスマス）のカード・箸袋（正月、寿司レク等）・ランチョンマット（正月、鏡開き、寿司レク等）を作成した。

令和 4 年度
特別養護老人ホーム 美保岐の丘
事 業 報 告

社会福祉法人富田福社会

1. 令和4年度行事報告

	施設行事	行事食	季節のご飯	食レク	手作りメニュー 手作りおやつ
4月	お花見 春の行楽弁当	春（桜ちらし・茶碗蒸し・桜うどん） イースター （オムライス）	桜ちらし	どら焼き作り （松・月）	春巻き スコッチエッグ 桜シフォン
5月	喫茶『みほぎ』	端午の節句 （天ぷら・柏餅） 母の日 （ちらし寿司・カーネーション饅頭）	筍ご飯	たこ焼き（瑞・鳳） サンドイッチ（葵・雅） 鉄板焼き（弥・寿）	コロッケ 緑茶蒸しパン
6月		虫歯予防 day （Ca 強化メニュー） 父の日 （チャーハン・黄バラ饅頭）	グリーンピースご飯	カレー（弥・寿） 餃子（瑞・鳳） うどん・カステラ （葵・雅）	鰯フライ だし巻き玉子 台湾カステラ
7月		七夕（そうめん） 土用丑の日 （鰻の蒲焼） 夏（沖縄料理＝タコライス）	とうもろこしご飯	クレープ（瑞・鳳） そうめん（葵・雅） すいか割（松・月） そうめん（弥・寿）	チキン南蛮 サーモンフライ ピーナツケーキ
8月	夏祭り （金魚すくい・輪投げ etc）	夏（冷し中華）	たこ飯	餃子（葵・雅） そうめん（松・月）	キャベツメンチ う巻き ハンバーグ バナナケーキ
9月	敬老会	敬老の日 （赤飯・天ぷら） 十五夜 （月見うどん）	栗ご飯	わらび餅（瑞・鳳） お月見（弥・寿）	ミラノ風カツレツ おはぎ

10 月		目の愛護 day (目に良いメニュー) ハロウィン (南瓜メニュー)	さつま芋ご飯	きのこ鍋 炊き込みご飯 (弥・寿)	ミートペンネ 南瓜コロッケ ブルーベリーシフォン
11 月	喫茶『みほ ぎ』 鍋レク	和食の日	野沢菜とじゃ この混ぜご飯 鮭と昆布の炊 き込みご飯	鍋 (瑞・鳳)	チーズ in ハンバーグ ココア蒸しパン
12 月	クリスマス 会	冬至 (けんちんうどん・ゆず饅頭) クリスマス (オムライス) 大晦日 (年越しそば)	白菜とミンチ の あんかけ丼	わらび餅 (葵・雅) 鍋 (松・月) クリスマス ケーキ作り (全体)	明太玉子焼き クッキー
1 月	初詣 餅つき (お 汁粉) 炊き出し訓 練	お正月 (赤飯・おせち ちらし寿司 お雑煮・天ぷら)	七草粥	お抹茶 (瑞・鳳) ベビーカステラ (葵・雅)	チキンカツ 里芋コロッケ ハンバーグ 塩シフォン
2 月	節分・恵方 巻作り 喫茶『みほ ぎ』 みほぎ食堂	節分 (太巻き&いなり) バレンタインデー (チョコレート)	チキンライス	恵方巻作り きしめん (3階) チョコフォンデ ュ (松・月)	鶏天タルタル 抹茶蒸しパン
3 月	鮓『みほぎ』	ひな祭り (ちらし寿司 ひな人形饅頭) ホワイトデー (クリームチュー)	山菜ご飯	鮓『みほぎ』 焼きそば 炊飯器ケーキ (瑞・鳳) きしめん 炊飯器ケーキ (葵・雅) 桜餅・お抹茶 (松・月)	メンチカツ ぼた餅 桜蒸しパン

※毎月 1 回以上：季節のごはん・手作りおやつ・手作り〇〇

※毎月2回程度：パンの日・麺の日

※その他、各ユニット単位で随時「誕生会」、「カラオケ大会」、「書道」、「塗り絵」、「脳トレ」等行っております。

2. 入居等報告

① 月別平均入居者数（定員 80 名）

	令和3年度		令和4年度	
	在籍者数	利用者数	在籍者数	利用者数
4月	79名	79名	79名	78名
5月	79名	78名	78名	78名
6月	79名	78名	79名	78名
7月	79名	78名	80名	79名
8月	79名	79名	80名	79名
9月	79名	79名	80名	78名
10月	79名	79名	79名	79名
11月	79名	79名	79名	79名
12月	79名	79名	79名	77名
1月	79名	79名	79名	79名
2月	79名	79名	79名	79名
3月	79名	78名	79名	79名

○令和3年度

在籍率 98.7%
稼働率（利用率） 98.3%
平均介護度 4.10

○令和4年度

在籍率 99.5%
稼働率（利用率） 98.6%
平均介護度 4.10

前年比：在籍率 0.8%、稼働率 0.3%増で目標値の稼働率 98%は達成することができた。

医療機関への入院に関しては、前年度延べ入院日数 89 日に対し、令和 4 年度は 251 日と 3 倍近く増加となったが入退居は減少した為、稼働率の増加に繋がったと思われる。

平均介護度は 4.1 と横ばいだった。

②月別退居者数推移

	令和元年度 退居者数	令和 2 年度 退居者数	令和 3 年度 退居者数	令和 4 年度 退居者数
4 月	0 名	2 名	2 名	2 名
5 月	1 名	1 名	1 名	3 名
6 月	3 名	1 名	1 名	1 名
7 月	2 名	1 名	1 名	0 名
8 月	1 名	0 名	0 名	0 名
9 月	1 名	1 名	1 名	0 名
10 月	1 名	1 名	1 名	2 名
11 月	1 名	0 名	0 名	1 名
12 月	3 名	0 名	0 名	2 名
1 月	4 名	2 名	2 名	1 名
2 月	2 名	3 名	3 名	1 名
3 月	1 名	3 名	3 名	2 名

令和元年度退居者数：20 名

令和 2 年度退居者数：15 名

令和 3 年度退居者数：21 名

令和 4 年度退居者数：14 名

③月別入居申込件数の推移

	令和元年度 入居申込件数	令和 2 年度 入居申込件数	令和 3 年度 入居申込件数	令和 4 年度 入居申込件数
4 月	2 件	5 件	2 件	3 件
5 月	4 件	5 件	3 件	2 件
6 月	5 件	1 件	3 件	3 件
7 月	6 件	10 件	3 件	1 件
8 月	4 件	2 件	3 件	6 件
9 月	7 件	3 件	3 件	4 件
10 月	3 件	9 件	3 件	2 件
11 月	6 件	5 件	8 件	2 件
12 月	8 件	3 件	0 件	2 件
1 月	9 件	5 件	1 件	2 件
2 月	8 件	4 件	4 件	3 件
3 月	2 件	5 件	1 件	4 件

令和元年度入所申込件数：64 件

令和 2 年度入所申込件数：57 件

令和 3 年度入所申込件数：34 件

令和 4 年度入所申込件数：34 件

申込み件数は昨年と同数で減少傾向にある。また待機者に連絡をすると、他で入居が決まったと辞退されるケースが増えてきている。幸い待機者不在による空床などは発生していないが、40 件程度申し込みがあると安定した入居に繋がっていくのではないかとと思われる。

④月別請求額

	令和 3 年度		令和 4 年度	
	国保請求	入居者請求	国保請求	入居者請求
4 月	¥25,709,190	¥10,112,618	¥25,033,966	¥10,889,401
5 月	¥26,270,190	¥10,398,337	¥25,620,655	¥10,805,429
6 月	¥25,653,931	¥10,098,330	¥24,971,218	¥10,679,153
7 月	¥26,625,322	¥10,303,341	¥26,021,462	¥10,980,016
8 月	¥26,204,733	¥11,169,839	¥26,162,435	¥11,064,905
9 月	¥25,530,419	¥10,698,862	¥24,829,419	¥10,460,750
10 月	¥26,318,324	¥11,087,133	¥26,286,004	¥11,186,315
11 月	¥25,422,356	¥10,756,402	¥25,484,272	¥10,756,960
12 月	¥26,113,815	¥10,957,681	¥25,888,278	¥11,055,805
1 月	¥26,186,389	¥11,191,564	¥26,461,541	¥10,971,311
2 月	¥23,677,970	¥9,808,316	¥23,809,843	¥10,096,749
3 月	¥26,062,695	¥10,690,107	¥26,545,803	¥10,901,241
合計	¥309,775,334	¥127,272,530	¥307,114,896	¥129,848,035
総合計	¥437,047,864		¥436,962,931	

請求額は年間を通して一定の水準を維持出来ています。
加算も算定可能なものは概ね算定できており現状を維持していけるようにしていく。

3.各部署報告

① 生活相談員

- ・入居者様及びご家族様への連絡、相談、報告を通じて情報の提供、共有に努めた。
- ・感染対策に伴う面会制限等における代替として ZOOM やガラス越し及び対面面会を実施し交流の機会の確保に努めた。
- ・ご家族様含め外部との接触や交流が制限される中、ご家族様の意向を共有し迅速に対応することで良好な関係構築に努めた。
- ・前年度同様、安定したベッドコントロールに努め、稼働率を維持することができた。

② 介護支援専門員

入居者のケアマネジメント業務（アセスメント、モニタリング、サービス担当者会議、サービス計画書作成、自立支援促進に関する評価・支援計画書の作成）を定期的及び随時実施した。

令和4年度取り組みについて

- ・サービス担当者会議を通して多職種と連携、協力、情報交換及び共有しケアプランの作成、更新を行ってきた。
- ・介護部との連携強化を密にしていくことを重視し、現場が作成している24シートをケアプランの第4表と連動することでよりケアプランの内容を現場職員が知り、周知徹底されるようなシステムを構築した。
- ・医療行為に対するニーズの部分も、施設としてどこまでのケアをしていくか、他部署と検討し、出来る限り施設での生活が継続できるような支援体制を継続することができた。
- ・コロナ禍の中で入居者様が外出の楽しみであったりご家族との時間を制限される生活を送らざるを得ない状況であった中で、いかに意欲低下や機能低下しないよう、できる限りのニーズを『聞き出し』『汲み取り』生活の質が維持、向上されるようなプランニ

ングを行ってきた。

- ・自立支援促進に関する評価・支援計画書を作成するにあたり、医師や他職種と連携し、個人

個人がより自律的かつ自立的な生活を送るうえでの必要な支援を考え、現場と連携しながら、

ご本人の生活の質が上がるような支援計画の立案に努めた。

- ・ケアプランを作成するにあたり、ご家族様が入居者の生活をより分かりやすく理解できるよう

な表現を心掛け、面会が制限されている中でも「安心して施設で暮らしている」と思ってもら

えるような書類作成に努めた。

③ 看護職

- ・嘱託医、介護職また外部医療機関と連携し、入居者様の健康管理に努めた。

- ・嘱託医と連携し、定期的採血を実施し全身状態管理に努めた（糖尿病患者：1回/3ヶ月

心疾患：1回/6ヶ月 抗凝固薬内服者：1回/3ヶ月 貧血：1回/6ヶ月）

- ・各入居者様の健康管理、受診や診察の補助を行った。

- ・職員健康診断の管理、補助を行った。

- ・新型コロナウイルスワクチン接種の管理を行い入居者様と職員ともに実施した。

- ・インフルエンザ予防接種の管理を行い実施した。

- ・毎月ナースカンファレンスを実施し、問題解決に努めた

- ・医務業務の見直し、マニュアル作成および改定を行った。

- ・各種研修に参加し、医療の場ではなく生活の場として特養の看護職の役割と理解について

医務室内での意識統一に努めた。

④ 機能訓練

- ・未経験介護職、各ユニット職員へのリハビリテーション・自他動作運動（ポジショニング、

レクリエーション、体操、拘縮予防など）の指導を行った。

⑤ 介護職

- ・ユニット会議及びリーダー会議を通じて、業務内容の確認を行い、改善・改革をしてサービスの質の向上に努めた。
- ・新型コロナウイルス感染予防のため、外出支援が行えない分、施設内でのレクリエーションの充実を図り、生活に張りを出すと同時に、他職種とも連携を密にして、情報の一元化することで入居者様お一人お一人の生活の質の向上に努めた。
- ・新型コロナウイルス感染予防のため、書面とリモートを活用して研修を毎月行い、必要である知識・技術を最新の情報をもとに学び、サービスの質の向上に努めた。
- ・面会制限があるため、毎月、入居者様の写真と職員からの近況情報を手紙にてご家族様に送付し少しでも入居者様の情報を提供できるよう努めた。

⑥ 管理栄養士

- ・多職種協働のもと、入居者様一人一人に合った形態、嗜好を踏まえた食事内容の検討を行い提供することができた。
- ・多職種協働のもと、入居者様個々に対応した栄養ケア計画書の作成を行った。
- ・栄養ケアマネジメントを通じ、入居者様の栄養状態の評価、栄養管理を行うことができた。
- ・栄養に関する加算について、対象となる入居者の算定を積極的に行った。
- ・給食委員会を定期的に行い、委託業者・多職種連携のもと、配膳方法の見直しや給食内容の改善に取り組むことができた。
- ・嘱託医と連携を図り、療養食の提供を通じて、対象者様の原疾患の悪化予防・コントロールに努めた。
- ・歯科医と連携を図り、入居者様の口腔内環境の改善・機能維持に努めた。また、口腔衛生管理加算の算定を行った。
- ・コロナ禍において（外出等の機会が減ったため）少しでも楽しんで頂けるよう、行事食と特別食の回数を増やしたり、食事の雑学や豆知識等の掲示を行った。食事レク

も感染対策に配慮して

行った。

・コロナ禍での外部研修が減った分オンライン研修等を利用し、知識の習得に努めた。

<委員会活動>

○褥瘡対策委員会

(活動テーマ)

褥瘡に対する知識の向上、予防ケアに対する知識の向上を目的に褥瘡予防計画書を作成し、情報

共有を行い、可能な限り褥瘡の発生させないように努めた。また、発生してしまった際には PDCA

サイクルに基づき、早期治療を行えるようプランの変更を適宜行うよう努める。

(活動内容)

・褥瘡リスク者についての情報を委員会で共有し、予防に努めた。

・各ユニットの委員をリンクとし、各ユニットへの褥瘡予防の技術の向上に努めた。

・褥瘡発生時には看護師が主体となり、医師と連携し早期治療に努めた。

その際、褥瘡治療計画を

立案し褥瘡発生者の管理に努めた。

・施設内研修（褥瘡予防ケア）を委員会で実施し職員の知識の向上につとめた。

・各ユニットの排泄ケアで工夫して取り組んでいることを共有しケアの質の向上に努めた。

・排泄業者の変更を行ない入居者一人一人に合った排泄アイテムを見直し生活の質の向上に努めた。

○感染対策委員会

(活動テーマ)

施設内の環境及び、感染症の予防、感染症予防の知識・技術教育や指導、入居者様の感染発生時の対応など衛生管理に関して適切な運営がなされることを目的とし感染蔓延予防に努める。

(活動内容)

・新入職員対象に、感染症の基礎知識研修、スタンダードプリコーションについての研修を実施

した。

・4月に手洗い研修、10～11月にインフルエンザ、ノロウイルスについての基礎知識研修及び感染経路別予防策の研修を行った。

・新型コロナウイルス感染予防のため、1年を通じて、全職員のマスクの着用及び手洗い・うがい・こまめな手指消毒を徹底するとともに、出勤前の自宅での検温を行い体調管理と状態の把握に努めた。また、施設内全体の定期的な換気と消毒を行い、ご面会の制限をしつつ来訪者にも検温の実施・マスクの着用・手洗い・うがいのご協力を仰ぎ感染予防に努めた。

・感染症対応マニュアルの改定を適宜行った。

○給食委員会

(活動テーマ)

食事を通して、入居者様の健康維持を支援するとともに、食事が生活における楽しみに

なるよう努める。

(活動内容)

・特別食・行事食・食事レクリエーションの企画、検討を行った。

・入居者様の嚥下機能、嗜好、ニーズを配慮した献立の検討を行った。

・円滑な給食提供ができるよう、配膳下膳システムの検討を行った。

○事故防止委員会

(活動テーマ)

施設内で起こった事故の件数・内容・傾向を分析、検討して再発防止を図る。また、ヒヤリハットの分析を行い、事故を事前に予防するとともに、現場に事故とは常に隣り合わせであることを伝えていく。

(活動内容)

・事故・ヒヤリハットの分析を行い、どのような事故が発生しているか、発生しかけているかを

把握し、施設全体で共有することに努めた。

・毎月のユニット会議内で事故・ヒヤリハットの分析を行い、同じような

事故の発生を防ぐよう

職員の意識と対策の統一を行った。

- ・リスクマネジメントの感性を育むために、研修で事故が多い・つながる場面を想定してリスクを回避する介護技術の研修を行った。

○身体拘束適正化委員会

(活動テーマ)

身体拘束ゼロ及び適正化に向け、指針やマニュアルに沿って尊厳と主体性を尊重し、拘束を安易に正当化することなく、職員一人一人が身体的、精神的被害を理解し、拘束廃止に向けた意識を持ち、身体拘束をしないケアの実施に努めます。

(活動内容)

- ・3ヶ月に1回委員会を開催。(必要時随時)
- ・指針、マニュアルの周知徹底及び見直し。
- ・半年に1回、現状把握及び改善についての検討を行った。
- ・身体拘束適正化のための職員研修実施。年2回及び新入職員対象。

○虐待防止委員会

(活動テーマ)

高齢者虐待防止法に準じ、体制を整備し、研修などを通じて虐待に関する知識、理解を深め施設全体で虐待防止に努めています。

(活動内容)

- ・虐待防止に関する研修を実施した。
- ・接遇や不適切ケアに関する事例検討を実施した。

○看取り委員会

(活動テーマ)

看取りマニュアルに沿って、入居者様・ご家族様の意向を汲み取り、最後まで負担なく又本人らしく過ごして頂けるような支援や体制づくりに努めていく。

(活動内容)

- ・3ヶ月に1回委員会を開催し、一番身近で看取り支援を行うことが多い『介護職員』が入居者の目線に立ち、より看取り期の生活の質が上がるようにできることはないか検討していった。
- ・看取りマニュアルの周知徹底、随時内容検討及び変更を行った。
- ・看取り後には他部署で集まり看取りを通して感じたことや学んだこと、次回に生かすべき内容等を共有し次の看取りをより良いものにするための話し合いの場を設けた。
- ・看取り介護指針の改定を適宜行った。

○防災委員会

(活動テーマ)

災害時発生時に入居者様と職員が安全に対応できるように、指針・マニュアル・防災設備の

見直しを行うとともに、職員への周知を図って施設全体の体制づくりに努める。

(活動内容)

- ・2か月に1回委員会を開催。
- ・指針・マニュアル・防災設備の周知を図るために、職員への研修を行った。
- ・年2回の避難訓練を行うとともに、防災設備の使用訓練を行った。
- ・炊き出しを実際に行い災害時の訓練を行なった。

○研修委員会

(活動テーマ)

各職員のステップアップの為に、どのような研修プログラムを組むべきか定期的に見直し

施設職員の質の向上に繋げていく。

加算算定に関わる研修内容に関して計画的に進めていき、施設サービスの向上及び体制強化に

繋げていく。

(活動内容)

- ・3ヶ月に1回委員会を開催
- ・新人研修、施設内研修、外部研修の定期的な内容確認及びプログラム

の見直し

- ・認知症ケア加算Ⅰ算定の為と夜間の喀痰吸引を実施する為の体制強化に必要な喀痰吸引研修

受講計画作成

- ・ユニットリーダー研修の受講計画作成

令和 4 年度
障害福祉サービス事業所 富田作業所
事業報告

社会福祉法人富田福祉会

令和4年度 富田作業所

事業報告

1. 令和4年度年度の主な実施行事

月 日	事 業	備 考
4月14日	電気の科学館見学	
4月20日	ソフトボール大会	
10月5日	ソフトボール大会	
10月18日	フットベースボール大会	
12月16日	クリスマス会	
1月4日	新年会	
1月6日	成人式	

その他 メロディーベル演奏 (千音寺子育てサークル) 1回のみ

2. 定例行事

職員

施設長集団指導 コロナ対策でネットで開催
個別支援会議 12月 3月
職員研修会 土曜開所日
支援員会議【第4土曜】
給食会議 【第2土曜】

利用者

防災訓練 年3回
健康管理日 月1回
レクリエーション 月4回
誕生会 月1回

公園清掃

月 2 回

3. 過去3年の推移 富田作業所 各月延べ利用者数

R2年度

	利用者 数	開所日 数	述べ利用 者数	稼働率 %	述べ利用 昨対 %
4月	23	21	392	46.6	78.8
5月	22	19	368	48.4	71.3
6月	22	22	457	51.9	84.0
7月	22	19	384	50.5	73.2
8月	22	17	346	50.8	78.8
9月	22	21	390	46.4	85.5
10月	21	22	433	49.2	89.2
11月	20	20	356	44.5	73.4
12月	20	20	363	45.3	77.7
1月	20	19	352	46.3	76.8
2月	20	18	336	46.6	87.2
3月	20	24	434	47.1	90.4

R3年度

利用者 数	開所日 数	述べ利用 者数	稼働率 %	述べ利用 昨対 %
21	20	384	48.0	97.9
21	19	349	45.0	94.8
21	22	412	46.8	90.1
20	18	340	47.2	88.5
20	18	337	46.8	97.3
20	21	363	43.2	93.0
20	21	400	47.6	92.3
21	21	403	47.9	113.2
21	19	385	50.0	106.0
21	19	380	50.0	107.9
21	16	302	47.1	89.8
21	23	457	49.6	105.2

R4年度

	利用者 数	開所日 数	述べ利用 者数	稼働率 %	述べ利用 昨対 %
4月	21	20	397	49.6	103.3
5月	21	20	397	49.6	113.7
6月	21	22	444	50.4	107.7
7月	20	20	375	46.8	110.2
8月	20	20	365	45.6	108.3
9月	20	22	437	49.6	120.3
10月	20	22	443	50.3	110.7
11月	21	22	434	49.3	107.6
12月	21	22	433	49.2	112.4
1月	21	20	396	49.5	104.2
2月	21	20	402	50.2	133.1
3月	21	23	462	50.2	101.0

利用者人数は変わりませんが、土曜開所日を増やし開所の年間日数を増やしたので

延べ利用者は昨対を全月で上回りました。コロナ感染で3日の閉所と7人の濃厚接触者で大勢が休みの日が出ました、大雪で2回の閉所もありました。中川区の障害者支援部会に積極的に参加することで、基幹センターからの利用者の実習の紹介をもらい2人の実習を受けましたが、ここでは適応できない方でした。しかし、紹介を受ける優先順位があがっていると感じました。

4 過去3年の介護給付費の推移

単位：円

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
4月	2901386	2817218	2962389
5月	2708479	2581521	2994178
6月	3348779	3034349	3494290
7月	2813060	2513664	2855089
8月	2534184	2482127	2959865
9月	2883303	2720262	3321821
10月	3178539	2946504	3327880
11月	2642674	2974261	3278960
12月	2692285	2902623	3309177
1月	2607261	2858562	2968376
2月	2483888	2304840	3084867
3月	3130122	3454926	3544579
合計	33923960	33590857	38101471
昨対比	80.2%	99.0%	113.4%

*総括

土曜開所日を増やしたことにより全月において延べ利用者数を増やしました。基幹センターとの関係を深めていくように研修・会議等にはどんどん参加して行きます。養護学校等には作業所のパンフレットや「かわら版」で定期的に卒業生の活動風景を知らせていき、作業所への意識付けにしていきます。グループホームとの上手な連携も気にして空き情報を保護者へ案内して、保護者へ協力していくこと、さらに中川区の障害者に係る人の相談サロンの位置づけになりつつある「とみたサロン」の方も計画的に開催して、作業所の知名度をあげる取り組みにしていきます。B型の支援を希望している人の紹介を受けたことに関しても時期合わず残念におもいます。B型の受け入れできる多機能型の対応もすすめていけるようにします。

令和 4 年度 居宅介護支援事業所松寿苑 事業報告書

1. 事業実施報告

- (1) 居宅介護支援実績件数 : 326 件 (令和 3 年度 : 554 件)
(2) 介護予防支援受託件数 : 139 件 (令和 3 年度 : 174 件)
(3) 認定調査委託件数 : 39 件 (令和 3 年度 : 36 件)

2. 特定事業所集中減算

法人内サービスの利用率について

デイサービス、前期 : 37% 後期 : 40%

※前期後期ともに 80%を超えておらず減算はなし

3. 研修報告

(1) 法定研修

該当なし

(2) その他研修

	主催団体	研修内容	参加者
7月	名古屋市社会福祉協議会	ICT 活用による業務効率化研修	松原
8月	愛知県居宅介護支援事業者連絡協議会	ファシリテーションスキル	松原
8月	愛知県居宅介護支援事業者連絡協議会	諸制度や関係機関との連携研修会	松原
8月	愛知県居宅介護支援事業者連絡協議会	在宅における食支援を考える	松原
8月	愛知県居宅介護支援事業者連絡協議会	自立支援に向けての訪問介護活用	松原
8月	愛知県居宅介護支援事業者連絡協議会	ACP の基礎理解とケアマネの役割	松原
8月	いきいき支援センター	カスタマーハラスメント対応	松原
9月	愛知県シルバーサービス振興会	介護保険施設運営指導マニュアル	松原
9月	愛知県シルバーサービス振興会	パワハラ防止対策研修会	松原

10 月	愛知県シルバーサービス振興 会	課題整理総括表活用研修会	松原
10 月	愛知県シルバーサービス振興 会	介護のための薬の知識研修会	松原

4. 苦情報告

直接のご連絡や担当者からの報告は受けていないが、利用者の中には言いにくいとの心情を持っている方もいることに留意し、支援内容や接遇に不適切なところはなかったか常に振り返りを行い、ご利用者様やご家族と適切な信頼関係を築き、よりよいサービス提供ができるよう努めていく。

令和 5 年度
特別養護老人ホーム 松寿苑
事業計画

社会福祉法人富田福社会

目 次

1.松寿苑年間行事予定

2.職員研修計画

3.各部署活動計画

①生活相談員

②看護師

③介護職員

④施設介護支援専門員

⑤機能訓練指導員

⑥栄養科

1. 松寿苑年間行事予定

※誕生会は毎月実施していく。

4 月 ・春のお食事イベント

5 月 フロア行事

6 月 ・防災訓練

7 月 ・出前ツアー

8 月 ・喫茶ツアー

9 月 ・敬老表彰式 ・防災訓練

10 月 ・秋祭り

11 月 ・フロア行事

12 月 ・クリスマスお楽しみ会 ・餅つき大会 ・防災訓練

1 月 ・鏡開き ・初詣

2 月 ・節分

3 月 ・お食事ツアー ・防災訓練

2. 職員研修予定

4 月 経管栄養

5 月 新人職員研修（基礎）

6月 事故防止に関する研(内部研修)、救急法研修(普通Ⅰ)、事務員研修Ⅰ(会計)、接遇研修

7月 指導的職員研修、介護職員・支援員研修(高齢)、救急法研修(上級Ⅰ)
事務員研修Ⅲ(労務管理)、第3回中部労災胃ろうセミナー

8月 生活相談員研修、食事サービス担当者研修、介護技術研修Ⅰ、
医学基礎知識研修Ⅰ、身体拘束研修(内部研修)

9月 感染症予防に関して(内部研修)、中堅職員研修、介護支援専門員研修、
救急法研修(普通Ⅱ)、
福祉用具研修

10月 運営管理職員研修、QOL向上研修Ⅱ、高齢者福祉施設見学研修、
経営者・施設長セミナーⅠ、福祉サービス苦情相談事業研修Ⅱ

11月 職場研修担当者研修、救急法研修(上級Ⅱ)、介護技術研修Ⅱ、
医学基礎知識研修Ⅱ、経営者、施設長セミナーⅡ

12月 看護師(看護職員研修)、救急法研修(普通Ⅲ)
身体拘束研修(内部研修)

1月 新人職員研修(フォローアップ研修)、事務員研修Ⅱ(会計)
対人援助技術研修、社会福祉施設職員相互派遣研修
福祉サービス苦情相談研修Ⅲ

2月 褥瘡予防に関して(内部研修)、職場研修担当者研修(フォローアップ研
修)、救急法研修(上級Ⅲ)教養セミナー、経営者・施設長セミナーⅢ

3月 防災研修セミナー
施設内研修 ・感染症研修：年2回 ・事故防止研修：年2回 ・褥瘡
予防研修：年2回
・虐待防止研修：年1回 ・身体拘束研修：年2回

3. 各部署活動計画

① 生活相談員

1 年間入所稼働率の向上

令和4年度の特別養護老人ホームの年間稼働率を95%以上で維持できるように、①入所待機者の状況把握や入所面接、入所手続きの迅速な対応、②ご家族様との連絡、③他事業所のケースワーカー、ソーシャルワーカーやケアマネージャーとの連携の強化、④職員との連携の強化を徹底して行っていく。

2 相談員ケース記録の内容充実

相談員が対応した様々なケースを今まで以上に充実した記録として残し、今後のケース対応に役立てるようにしていく。特にご家族様やご利用者様とのやり取りを随時、記録に残し、ケース対応として漏れのないように徹底して行っていく。ご家族様やご利用者様に不安感を与えない為に決して中途半端な対応とならないようにしていく。多くの行政手続きに関しても、記録にきちんと残し、ご家族様支援にも役立てるようにしていく。

3 年間行事の内容充実

介護・看護職員・施設ケアマネ・管理栄養士等と連携し、新しい行事内容を企画し、年間行事を更に充実させることにより、ご利用者様の楽しみを増やしていけるようにしていく。ご利用者様のニーズに関しても介護職員と連携して、把握していくように努める。

4 確実な報酬加算管理の徹底・介護報酬の不正請求の防止

報酬加算管理を徹底していくため、加算条件の確認を再度行い、それに伴う必要な資料の見直しと充実を図る。決して、介護報酬の不正請求とならないように、一か月毎の加算資料の作成と確認を徹底して行っていく。

他事業所との連携や入所に関する迅速な対応を徹底していく。また、入院されている方の空床ベッドをショートステイにて上手く利用し対応していく事で、収益の維持を保つように計画とする。

5 ご利用者様・ご家族様とのコミュニケーションの充実

ご利用者様・ご家族様とのコミュニケーションの時間を増やしていけるように、その他の事務的な業務の効率化を図り、充実させていきたい。入所相談やご家族様からの相談に丁寧・真摯に受け止められるように自分自身の気持ちに余裕を持って対応していくように努力していく。

コロナウィルスが5類相当に区分分けされる事で、面会方法、体制の見直しを行い、ご利用者様、ご家族様のコミュニケーションを円滑に行えるように推進していく。

6 業務継続計画（BCP）の作成

感染症や自然災害時における業務継続計画を作成し、サービス提供を継続する為に施設として実施すべき事項を定めておき、平時から円滑に実行できるよう準備すべき事項を定める

7 地域への情報発信に関して

①積極的なボランティアの受け入れ、②地域からの要望の積極的な対応
③地域との交流行事への積極的な参加④ホームページの活用等により、地域に向けて情報を発信し地域と施設とが、更に身近な関係となるように活動していく。

②看護師

令和 5 年度年間予定

月	予定
4	経管栄養・喀痰吸引研修
5	褥瘡についての施設内研修会
6	感染症対策施設内研修 入苑者・職員健康診断 定期健康診断結果報告(労基)
7	
8	胃瘻交換
9	胃瘻交換
10	感染症対策施設内研修会
11	インフルエンザ予防接種(職員、入苑者)
12	職員夜勤者健康診断 定期健康診断結果報告(労基)
1	
2	褥瘡についての施設内研修会 胃瘻交換

3	胃瘻交換
---	------

③介護職員

<活動内容>

7. 相談員、施設ケアマネ、看護の連携を日々の申し送り、会議録等で密にし、全職員が情報を共有し総合的なサービスを提供。
8. 安全管理委員会、事故防止委員会、感染症委員会が中心となり、利用者様へ啓発、職員へ周知徹底を行い安心して日常を送れるように努める。
9. 施設ケアマネ、御家族様の御協力のもと、十分なアセスメントを行い御本人様が希望されるクラブ、行事、余暇活動を楽しんで頂く。
10. 新型肺炎コロナ感染症の状況に応じて啓発、感染症対策を行い対応する。
11. 機能訓練士による機能訓練を継続し、介護職員により生活全般の支援を通し残存機能の維持に努める。
12. 機会が減ったが、外部研修へ参加し職員の質の向上を行う。
13. ボランティア、近隣の保育園、婦人会の行事に参加して頂き交流を図る。

(クラブ活動)

- * 新型肺炎コロナ感染症の状況に応じて感染症対策を行いながらクラブ活動を行う。
- ・ 利用者の個々の趣味を活かしたり、能力の再発見の機会を作り日々の生活に生きがい、楽しみを見つけ充実した生活を送って頂く。又、個々の能力を最大限に引き出し機能の維持向上に努める。

(茶道クラブ、華道クラブ、音楽クラブ、書道クラブ、手芸クラブ、レクリエーション)

(行事)

＊新型コロナウイルス感染症の状況に応じて感染症対策を行いながら活動する。

・時節に応じた行事を開催し施設の中でも季節を感じて頂く。

(花見、七夕、夏祭り、運動会、餅つき大会、クリスマス会、初詣、豆まき、ひな祭り)

<委員会活動>

＊新型コロナウイルス感染症の状況に応じて感染症対策を行い実施する。

○ 事故防止委員会

(活動テーマ) ・ ヒヤリハット、アクシデント報告書にもとづいて、早急に原因究明、対策を行い、多角的な視線で事故予防、再発予防に努める。

(活動内容) ・ インシデント、アクシデント報告書に基いてフロア会議を行う。

・フロア会議にて決定した対応策を、経過観察し評価する。

・定例会にてフロアで評価した結果を再検討し対策を決定する。

・報告書や流れを、分かりやすくなるように検討し変更する。

○ 褥瘡予防委員会

(活動テーマ) ・ 褥瘡ゼロを目標とし、サービス計画書を作成し情報を共有し可能な限り褥瘡を発生させないことを実践する。

(活動内容) ・ 計画書及び報告書を改定する。→フォルダーを作成する。

・発生部位をカメラで撮りフォルダーへ保管。

・週1回は経過報告書に記入。

○ 自立支援委員会

(活動テーマ) ・利用者の基本的人権を尊重し、心豊かな生活できることを身体拘束ゼロの目標とし、様々な角度から検証し対策を重ね検討する。

(活動内容) ・各フロアの身体拘束しない対応策の検討、報告。
・スピーチロックの勉強会を行い、周知徹底に取り組んだ。
・各センサーの管理。

○ 記録管理委員会

(活動テーマ) ・再活用でき、明瞭性のある記録物の作成。

(活動内容) ・目的別ケース記録の書き方マニュアルの見直し。
・夜間巡回、睡眠
・移動・移乗、外出
・面会、レクリエーション
・食事、認知障害、行動障害
・危険な行動、暴力行為
・排泄、入浴
・服薬
・利用者同士のトラブル

○ 感染症委員会

(活動テーマ) ・施設内の環境及び感染症の予防、利用者様の感染症発生時の対応など衛生管理に関し適切な運営が図れることを目的に取り組む。

(活動内容) ・感染予防マニュアルの見直しを行う。
・感染症の会議を毎月行う。
・内部、外部研修の参加。
・新型肺炎コロナ、インフルエンザ、ノロウィルスが外部で流行している為啓発などを行い、予防の意識を高める。

○ 安全管理委員会

(活動テーマ) ・利用者様が安心して生活できるように転倒防止、設備、備品管理を行い、物品の整理整頓及び介護機器のメンテナンス等環境整備に努める。

(活動内容) ・3月、6月、9月、12月に個別服薬内容のチェックを行う。

・新規入所者、の個人状況表の作成を随時実施する。
合わせて防災マニュアルの各階名簿に入れる。

・相談員と新規入所者に対する同意書の有無、作成について

・確認と作成後各フロア安全委員より個人ケース記録に入れ

緊急時救急隊に連絡する資料とする。

④介護支援専門員

<活動方針>

「新規入所者のニーズを早期に明らかにすることで顧客満足度を高める」

「ケアプランの質をより向上していく」

(1)「ケアの目標について」

①利用者が求めている生活の具体像を描き出す

②利用者が求めている生活の実現を阻害しているものを明らかにする

③利用者の生活機能に対応した生活の目標と課題を明らかにする

④生活機能・疾患の予後（将来の状態予測）に基づく実現可能な目標

⑤利用者・家族と専門職の協働作業による目標設定

⑥サービス提供実行後の予測を示す

⑦一人ひとりの状況に応じたオーダーメイドの目標設定

生活の目標・活動の目標を実現するためのサービス内容、日常生活上の活動、担当者

などを明確にする。サービス配置の計画表により全体把握できるようにする。

(2)「社会資源の活用」

施設入所中でも利用可能な社会資源を活用し、入苑者にとって充実した日々を過ごす事

が出来るよう計画作成を行う。ボランティアの活用や訪問による陶芸などの娯楽の提供を計画していきたい。近所のコンビニなどへ付き添いを行い買物をすることで気分転換ができるサービスを計画していきたい。

（３）「感染対策を講じ外部サービスを検討する」

外部サービスとして訪問マッサージ、訪問理美容を再開している。今後も感染対策を講じつつ、QOLの向上を図っていきたい。

（４）「不満を解決し快適な施設生活の提供」

信頼関係を構築することで入所者に対し職員や他入所者への不満やストレスを汲み取り、解決していくことで、できるだけストレスを抱えない生活が送れるよう支援をしていく。

状況に応じてフロアの移動や食事の席位置を検討していく。

（５）「不適切な介護がないよう監視体制の強化」

身体拘束や虐待の有無を随時確認し、職員教育と指導を定期的実施していくことでよりよいサービスが提供できるよう体制を整えていく。

（６）「職員へのケアマネジメント研修の実施」

介護職員への定期的なケアマネジメント研修を再開し、質の高いケアプランが提供できるよう研修を実施していく。

⑤機能訓練

<活動方針>

：利用者の残存機能を活かし、その人らしい生活が送れるように支援していく。
評価を行い多職種と情報を共有し適切な機能訓練を提供していく。

<活動内容>

① 集団リハビリ

：リズム体操やラジオ体操等少人数で、利用者の状態に合わせた運動を実施する。

② 日常生活動作

：その人に合った車椅子やトイレなどの環境整備を行い生活動作に支障がない

ように

支援していく。

③ クラブや行事

：クラブやレクレーションを通し楽しみながら機能の維持、低下を予防していく。

④ 個別機能訓練

：多職種と共同で利用者の健康維持や状態に合わせ嚥下訓練や歩行訓練などを実施していく。

⑥ 栄養科

＜活動方針＞

- 1 入苑者様及び法華デイサービス利用者様の各個人に合った食事を提供する。
- 2 栄養ケアマネジメントの実施を通じて入苑者様の QOL・食事内容の検討を行う。
- 3 嚥食状況の確認を行い、利用者様に沿った食形態・味付け等、満足頂けるような食事を追求する。
- 4 施設栄養所要量の摂取基準を設定し各部署に周知するとともに、栄養についての理解を求める。
- 5 講習会等へ参加し専門職としての知識・技術などの自己研鑽を行う。

＜活動内容＞

1 食事について

- ・行事食・誕生祝い膳、センターは手作りランチ・おやつ等を毎月実施する。
- ・利用者様が季節を感じられたり、楽しみになるようなイベント食の提案、行事食を増やしていくよう努める。
- ・利用者様の嚥下状況に合わせたソフト食・刻み食・ミキサー食の提供を臨機応変に行う。
- ・半固形状流動食を用い胃ろうの方へ安全な食事提供を行う。
- ・食事摂取困難となった方には、濃厚流動食を提供し栄養状態の保持を図る。
- ・月に一度 給食会議を開催し献立に反映していく。
- ・魚国総本社と連携して利用者様の要望などアンケート調査を実施し、食事の内容と質の向上を目指していく。

2 栄養ケアマネジメントについて

- ・利用者様を対象として昼食・夕食時の訪問を基本に嚥食状況を調査し、月 1 回の体重測定を含めてモニタリングしながら各個人の栄養状態にあった安

全な食事を提供する。

- ・モニタリングをもとに、栄養アセスメントにおける評価、判定された問題を改善するための栄養ケア計画書を作成する。

- ・必要に応じて適正な時期にモニタリングを実施し、入退院やリスクに変化があった場合、新たに栄養ケア計画を作成し各部署と話し合いながら食事内容を決めていく。

3 災害時（地震・食中毒等）の食事提供について

- ・地震等で厨房が使用できなくなった場合には、委託業者(魚国総本社)協力のもと、備蓄非常食を使用し3日間対応する。それ以上に事態が悪化していた場合には、委託業者(魚国総本社)より市場の流通が回復するまで食事を提供していただく。

- ・食中毒等が発生し厨房及び委託業者社員が従事不可能な場合は、魚国総本社よりクックサーブにて食事を提供していただく。(防災マニュアル参照)

<年間スケジュール>

行事献立予定	行事	献立	おやつ
1月	お正月	おせち	甘酒・饅頭
2月	寿司イベント	握り寿司	練切饅頭（節分）
3月	桃の節句	桜散らし寿司	季節の練切・三色ゼリー
4月	春のイベント	春のお弁当	春祭りおやつ
5月	端午の節句	散らし寿司	子供の日おやつ
6月		夏バテ予防メニュー	水ようかん
7月	土用の丑	うなぎ	アイスクリーム
8月	夏まつり	特製弁当	季節の練切饅頭

9 月	敬老の日	敬老祝い膳	おはぎ
10 月		秋刀魚・栗のメニュー	お月見おやつ
11 月	秋のイベント	幕ノ内弁当風	季節の練切饅頭
12 月	クリスマス	クリスマスランチ	ケーキ

入苑者	誕生祝い膳	誕生会	茶道
1 月	1 回	1 回	2 回
2 月	1 回	1 回	2 回
3 月	1 回	1 回	2 回
4 月	1 回	1 回	2 回
5 月	1 回	1 回	2 回
6 月	1 回	1 回	2 回
7 月	1 回	1 回	2 回
8 月	1 回	1 回	2 回
9 月	1 回	1 回	2 回
10 月	1 回	1 回	2 回

11 月	1 回	1 回	2 回
12 月	1 回	1 回	2 回

※誕生祝い膳：昼食時に赤飯・茶碗蒸し・散らし寿司等のリクエストメニューを祝い膳として提供している。

誕 生 会：ホールケーキ 1 台と季節を彩ったソースを使用したババロアをおやつ

として提供している。

茶 道：饅頭などの和菓子を提供している。

デ ィ サ ー ビ ス	手 作 り ラ ン チ	手 作 り お や つ	茶 道	お 楽 し み 食	誕 生 会
1 月	2 回	3 回	2 回	1 回	2 回
2 月	2 回	3 回	2 回	1 回	2 回
3 月	2 回	3 回	2 回	1 回	2 回
4 月	2 回	3 回	2 回	1 回	2 回
5 月	2 回	3 回	2 回	1 回	2 回
6 月	2 回	3 回	2 回	1 回	2 回
7 月	2 回	3 回	2 回	1 回	2 回
8 月	2 回	3 回	2 回	1 回	2 回
9 月	2 回	3 回	2 回	1 回	2 回
10 月	2 回	3 回	2 回	1 回	2 回

11 月	2 回	3 回	2 回	1 回	2 回
12 月	2 回	3 回	2 回	1 回	2 回

※ランチ・おやつの内容については担当者と話し合い決定する。

お楽しみ食 ：月 1 回実施している。

茶 道 ：饅頭などの和菓子を提供している。

誕 生 会 ：ケーキを提供している。

令和 5 年度
デイサービスセンター法華
事業計画

社会福祉法人 富田福社会

令和5年度
デイサービスセンター法華 事業計画

月	行 事 計 画
4	・レク活動（活花・抹茶）・お花見行事・誕生日会・手作りランチ ・手作りおやつ・お楽しみ食
5	・外出行事（遠足）・レク活動（活花・抹茶）・誕生日会・手作りランチ ・手作りおやつ・お楽しみ食
6	・レク活動（活花・抹茶）・誕生日会・お楽しみ食・手作りランチ ・手作りおやつ
7	・レク活動（活花・抹茶）・誕生日会・お楽しみ食・手作りランチ ・手作りおやつ
8	・レク活動（活花・抹茶）・誕生日会・お楽しみ食・手作りランチ ・手作りおやつ
9	・レク活動（活花・抹茶）・誕生日会・お楽しみ食・手作りランチ ・手作りおやつ
10	・運動会・レク活動（活花・抹茶）・誕生日会・お楽しみ食・手作りランチ ・手作りおやつ
11	・レク活動（活花・抹茶）・誕生日会・お楽しみ食・手作りランチ ・手作りおやつ
12	・クリスマス会・レク活動（活花・抹茶）・餅つき・誕生日会・ ・手作りおやつ・お楽しみ食・手作りランチ
1	・鏡開き・レク活動（活花・抹茶）・誕生日会・お楽しみ食・手作りランチ ・手作りおやつ
2	・レク活動（活花・抹茶）・誕生日会・お楽しみ食・手作りランチ ・手作りおやつ

3	・レク活動（活花・抹茶）・誕生日会・お楽しみ食・手作りランチ ・手作りおやつ
---	---

デイサービスセンター法華 介護方針

1. デイサービス事業の基本方針

〔1〕 介護保険制度の趣旨に沿って、可能な限り居宅において、その有する能力に応じ、自立した日常生活を営むことができるよう、通所介護サービスを提供します。

〔2〕 必要な日常生活上の介助及び、機能訓練を行うことにより、ご利用者の社会的孤立感の解消及び、心身機能の維持、またはご利用者のご家族の身体・精神的負担の軽減を図ります。

〔3〕 家庭に引きこもりがちな認知症高齢者が、デイサービスセンター法華に通所することにより、生活に「ハリ」と「リズム」をつくり、住み慣れた地域で家庭生活を継続できるよう、また地域の方から信頼されるよう努めます。

2. ご利用者への対応

・居宅サービス計画に沿って、（介護予防）通所介護計画を作成し、サービスを提供します。

・認知症高齢者の特徴を理解し、観察を充分に行い、安全性を確保し状態の変化に対応します。

・職員の意思を押し付けることなく、ご利用者のペースに合わせ落ち着いて安心できる生活空間を実現し、ご利用者本来のあるがままを受け入れ、またその意思を尊重します。

3. サービス内容

〔 プログラム・サークル活動 〕

・社会的に孤立しがちなご利用者に対し、アクティビティーサービス（体操・音楽・レクリエーション・手工芸・散歩等）を通じて、心身機能の防止、向上を図ります。

・プログラムはご利用者一人ひとりの個性・生活歴を尊重し、持っている能力を発揮できるよう、活動の内容を考えます。

・四季折々の行事・活動を実施し、季節に関する話題の中からご利用者とともに題材を決定し毎月、作品づくり・貼り絵等を行います。

〔 食事 〕

・食事を栄養補給の目的だけでなく、楽しみのひとつとして捉え、交流を深める機会としての雰囲気づくりに努めます。

・ご利用者一人ひとりの状態に合わせ、個別に常食・粥・刻み・ミキサー食等の食事を提供し、必要に応じて食事介助します。

・お正月、お誕生会、クリスマス会等の行事やお楽しみ食等、季節に合わせた食事を提供します。

〔 入浴 〕

・在宅での介護負担軽減の為、自宅での入浴が困難なご利用者に対し、シャワーチェア等の入浴サービスを提供します。

・体調の変化に留意し、安全に入浴して頂けるよう、必要な介助を行います。

・身体の外傷確認、皮膚状態を確認し、必要に応じて持参された軟膏を塗布する等の処置を援助します。

〔 排泄 〕

・ご利用者一人ひとりの生活サイクルを把握し、より良く誘導し、不快感を感じさせないよう排泄介助を行います。

〔 健康管理 〕

・ご利用者の身体の清潔と機能維持に努めます。

・通所持に健康チェック、心身状態の観察を行うとともに、急変時には適切に対応します。

・必要に応じて、持参した薬の管理、服薬支援を行います。

〔 送迎 〕

・ご利用者に安心して乗車して頂けるよう、送迎バスを運転する職員は、車内のご利用者の体調を観察し、安全の確保に努めます。

〔 ご家族に対する支援 〕

・安心して在宅生活を維持できるよう、ご家族と密に連絡を取り、信頼関係を築き、話し合う場をつくるよう努めます。

・ご家族に対し、アンケート調査を実施し、ご家族の希望を受け止め、ご利用

者をデイサービスと共に支えていくという気持ちを持って頂けるよう援助し、ご利用者のご家族の生活の安定を図ります。

- ・ご利用者及び、ご家族の生活についての相談を受けるとともに、必要時に応じて家庭訪問を行い、ご利用者・ご家族の環境把握に努めます。
- ・送迎時、毎月の予定表、電話連絡、行事への家族参加を通じて、ご家族と情報を交換しながら、在宅生活を支援します。

4. 関係機関との連携

介護支援事業所、地域の関係機関との連携・協力に努めます。

また、サービス提供場面で得られる、ご利用者やご家族の情報を居宅介護支援事業者（介護支援専門員）へ提供し、情報を共有します。

5. 職員の資質の向上

サービス向上を図る為、職場内研修を実施し、介護保険制度、福祉制度、高齢者心理等の専門的知識を習得します。

専門性の高い研修については、外部機関が実施する研修に参加します。

また、毎日のミーティングと必要時に随時会議を実施し、業務内容・専門知識等を職員全員で周知徹底します。

※ご利用者の「生涯在宅」の思いを踏まえながら、ご利用者の残存機能を活かした自立支援を提供します。

6. 日課

サービス内容	時間	職員日課
	8 : 20	職員ミーティング
送迎出発	8 : 30	受け入れ準備
到着／出迎え／連絡帳確認／朝の 会	9 : 30	フロアー誘導
健康チェック（体温・血圧・脈拍） ／ 入浴	10 : 00	入浴介助
トイレ誘導／手洗い／口腔体操	11 : 45	食事の準備
昼食／服薬支援／口腔ケア	12 : 00	配膳／服薬介助／食事介助
トイレ誘導／余暇時間	13 : 00	整容／見守り／コミュニケーション
集団体操／個別機能訓練／	13 : 45	機能訓練
おやつ	15 : 00	手作りおやつ等
トイレ誘導	15 : 10	整容／トイレ介助
運動系レクリエーション	15 : 20	運動系レクリエーション
トイレ誘導／帰宅準備	15 : 50	トイレ介助／連絡帳記録
帰りの会	16 : 10	持ち物確認

送迎出発	16 : 45	バス誘導／出発
	17 : 30	清掃／職員ミーティング

7. 本年度の目標

稼働率**65%**以上を目指します。

空き情報やデイでの活動の様子をお便りやホームページで発信したり、ケアマネージャーとの連絡を密に行うことで、新規利用者の確保に努め、振替利用や追加利用などにも柔軟に対応していきます。

通所介護の介護報酬につきましては、令和3年4月の介護報酬改定で入浴介助加算の単価の引き下により、1人当たりの単価が下がっています。

今後は、事業が円滑に実施できるよう体制を整え、安定した経営が図られるように取り組めます。また、より良いサービスの向上のため職員のスキルアップに向けた取り組みを積極的に行って参ります。

令和5年3月31日

デイサービスセンター法華 生活相談員 長尾 朝都

令和5年度
ショートステイ 敬寿の里
事業計画

社会福祉法人 富田福社会

ショートステイ敬寿の里 基本方針

1. 指定短期入所生活介護の提供に当たって、当事業所の生活相談員等は、要介護者の心身の特性を踏まえ、その有する能力に応じ自立した日常生活を営む事ができるよう、入浴、排泄、食事等の介護、その他の日常生活上の世話及び機能訓練等を行う事により、要介護者の心身機能維持、並びに利用者の家族の身体的・精神的な負担の軽減を図り、在宅生活支援を行います。
2. 指定介護予防短期入所生活介護の提供に当たって、当事業所の生活相談員等は、要支援者が可能な限りその居宅において自立した日常生活を営む事ができるよう、入浴、排泄、食事等の介護、その他の日常生活上の支援及び機能訓練等を行う事により、要支援者の心身機能の維持回復を図り要支援者の生活機能の維持・向上を目指します。
3. 事業所の実施に当たっては、関係市町村、地域包括支援センター、居宅介護支援事業者、地域の保健、医療、福祉サービスと綿密な連携を図り総合的なサービスの提供に努めるものとします。
4. 地域に愛される施設にしていきます。
5. ご利用者様、ご家族様に安心して生活して頂けるような施設にしていきます。
6. 5月から新型コロナウイルスも5類相当となり、世間ではウィズコロナの生活環境となる中で、周辺状況を考慮し適切な感染対応に努め、安心してご利用して頂ける施設環境を提供できるよう努めます。

ショートステイ敬寿の里 各部署の方針

生活相談員

相談員業務についての基本的知識の習得を行い、ご利用者様もしくはそのご家族様についても懇切丁寧な説明を行い不安感等の軽減に努める。ご利用者様の置かれている状況を的確に把握し、多職種(施設内外)連携しより良い環境作りを行うよう努める。また、感染症にも細心の注意を払い、新規アセスメント、他サービスご利用状況等より多くの情報を得られる様に努め、感染対応を行っていく。

居宅介護支援事業所とより密接な関係性を構築できるように努め、稼働率の上昇へ繋げていく。

介護職員

介護における基本的知識・経験を活かし、ご利用者様がその人らしい生活を営む事ができるよう支援をする。また、自宅での生活スタイルを引き継ぎつつも、専門職としてよりよい生活を送っていただけるよう、その都度ご提案をさせていただく。多職種(生活相談員、看護職員、管理栄養士)と連携して、情報の共有を図り、適切なケアを行うよう努める。

看護職員

医療における専門的知識・経験の観点から、ご利用者様の身体的観察等を行い、対応していく。また、多職種(生活相談員、介護職員、栄養士)と連携して、医療的な観点からの指示等を行うように努める。

身体的、精神的に異常が確認された場合等は生活相談員と連携して、主治医、ご家族様等に情報提供を行うよう努める。

栄養士

多職種協力のもと、ご利用者様お一人お一人に合った食事内容を検討し、提供するよう努める。

給食会議を定期的に行い、委託業者・多職種連携のもと配膳方法の見直しや給食内容の改善に努める。

感染症対策をしながら、ご利用者様が皆で参加できるイベントを行う。

季節の食材や行事食を提供し、食事を楽しめるように努める。

ご利用者様のニーズを知るために9月に嗜好調査を行い、委託業者とも結果を共有し食事内容と質の向上に努める。

ご利用者様の体重測定を定期的に行い、急な体重変化等に気を付けて健

康観察するように努める。

各種委員会

多職種連携し、委員会活動を継続して行い、職員の意識と知識の向上とともに施設環境の整備を行っていく。

事故防止委員会

ご利用者様が生活される上で転倒等の事故は発生する可能性はあるが、それらを未然に防ぐための対策と、再発防止等につなげる為の事例検討等を継続して行い、多職種連携を図る体制の構築をしていく。

虐待防止委員会

身体拘束適正化委員会

接遇向上委員会

ご利用者様の尊厳を保持した生活をして頂く上で、施設で取り組むべき内容とご利用者様が心地よく生活して頂ける事を検討し、職員へ研修等を実施していく。

感染対策委員会

感染症発生時の BCP（業務継続計画）の作成をすすめ、施設備品や環境整備についての検討を行い、より安心・安全に生活して頂ける施設の対策を構築していく。

コンセプト
～ 心のこもったやさしさ ～

日 課

時間	サービス内容
7 : 0 0	起床、口腔ケア、整容、更衣
8 : 0 0	朝食
9 : 0 0	朝食、下膳、片付け
1 0 : 0 0	入浴
1 1 : 0 0	入浴
1 2 : 0 0	昼食
1 3 : 0 0	下膳、片付け、口腔ケア
1 4 : 0 0	入浴
1 5 : 0 0	おやつ、レクリエーション
1 6 : 0 0	レクリエーション
1 7 : 0 0	夕食準備
1 8 : 0 0	夕食
1 9 : 0 0	夕食、下膳、片付け
2 0 : 0 0	口腔ケア、更衣
2 1 : 0 0	就寝

令和 5 年度
ショートステイ 敬寿の里 行事計画

月	行事計画
4	お花見、レク活動
5	喫茶レク、レク活動
6	レク活動
7	七夕レク、レク活動
8	夏祭り、朗読レク、レク活動
9	敬老会、レク活動、防災訓練
10	秋の昼食会、レク活動
11	レク活動
12	クリスマス会、朗読レク、レク活動
1	書初め、初釜、鏡開き・餅つき、マジックショー
2	節分、レク活動
3	ひな祭り、お花見、防災訓練

※お誕生日のお祝いを、毎月対象者の方へ実施していきます。

職員研修計画

施設内研修を定期的の実施すると共に、外部機関の研修に参加し専門的な知識、スキルも習得できるようにしていきます。

- 4月 口腔ケアに関する研修
- 5月 認知症ケアに関する研修
- 6月 プライバシーの保護に関する研修
- 7月 事故発生等緊急時の対応に関する研修
感染症対策研修 (OFF-JT)
- 8月 非常災害時の対応に関する研修
介護技術研修：入浴介助 (OFF-JT)
- 9月 現任職員研修
アンガーマネジメント (OFF-JT)
- 10月 身体拘束等に関する研修
介護記録研修 (OFF-JT)
- 11月 感染症対策に関する研修
- 12月 医療等に関する研修
介護技術研修：体位変換・移乗 (OFF-JT)
- 1月 事故発生等緊急時の対応に関する研修
- 2月 非常災害時の対応に関する研修
権利擁護研修 (OFF-JT)
- 3月 現任職員研修

※研修内容については、各委員会内等で必要度や時勢に合わせたものを立案・

実行する為、上記の予定とは異なる事もあります

※OFF-JT（施設外研修）については主催者の都合及び抽選等により変更する事が

あります

令和5年度の取り組み

感染症に細心の注意を払い、安心・安全にご利用いただける施設を実現し、新規ご利用者様の開拓と同時に長期にてご利用して頂けるご利用者様の確保に努め施設運営の安定化を図っていきます。そのためには、担当ケアマネージャーの方との連携の充実化を図り、安心してご紹介頂けるように信頼関係の構築に努めます。

また、施設内では多職種連携の環境作りにも強化を図り、今まで以上に情報の共有ができるようにして、職員が安心して勤務ができる環境作りを行っています。

5月よりコロナウイルスが5類相当となりますが、継続して感染予防への取り組みをして参ります。

令和5年度
特別養護老人ホーム 美保岐の丘
事業計画

社会福祉法人富田福社会

目 次

1. 美保岐の丘年間行事予定

2. 職員研修計画

3. 各部署活動計画

4. 委員会活動計画

5. その他活動計画

新型コロナウイルス対策に関して

1. 美保岐の丘年間行事予定

特別養護老人ホーム 美保岐の丘 令和5年度行事予定表

	一 般 行 事	行事食・季節の料理、おやつ	食事レク・おやつレク
4 月	お花見	春（桜ちらし・茶碗蒸し、桜うどん） イースター（カルボナーラ）	
5 月	お茶会	端午の節句（天ぷら・柏餅） 筍ご飯	喫茶『みほぎ』
6 月	輪投げ大会	虫歯予防 day（Ca 強化メニュー）	
7 月	七夕 避難訓練	七夕（そうめん） 夏（沖縄料理） 土曜丑の日（うなぎ）	
8 月	夏祭り	夏（冷し中華） まるはちの日（きしめん・味噌カツ）	夏祭り 喫茶『みほぎ』
9 月	敬老会	敬老の日（赤飯・天ぷら） 十五夜	敬老会（長寿園の和菓子提供） 手作りおはぎ（秋の彼岸）
10 月	ハロウィン	ハロウィン（かぼちゃメニュー） 秋（栗ご飯） 目のあいご day（目に良いメニュー）	
11 月	焼き芋	和食の日	喫茶『みほぎ』
12 月	クリスマス ケーキ作り	クリスマス（オムライス） 年越しそば	
1 月	餅つき、初詣 避難訓練	正月（赤飯・ちらし寿司・雑煮・天ぷら）	餅つき（おしるこ）

		七草粥	炊き出し（おむずびの日）
2月	節分	節分（太巻き&いなり） バレンタイン（チョコデザート）	恵方巻作り 喫茶『みほぎ』
3月	ひなまつり	ひな祭り（ちらし寿司・ひな人形 饅頭） ホワイトデー（クリームシチュー）	寿司バイキング 手作りぼたもち（春の彼岸）

※新型コロナウイルスの状況に応じて対応していきます。

- ・毎月1回『季節のごはん』『手作りおやつ』
- ・毎月2回『麺の日』『パンの日』
- ・食べ物にまつわる記念日、〇〇の日等を随時、献立に取り入れる。

2. 職員研修計画

特別養護老人ホーム 美保岐の丘 令和4年度研修予定表

	外部研修
4月	
5月	給食施設指導講習会
6月	介護技術研修、ユニットリーダー研修
7月	新任職員基礎研修、介護技術研修、接遇マナー研修、救急救命研修、労務管理研修
8月	新任職員基礎研修、医療知識研修、介護支援専門員研修、他職種連携推進研修
9月	対人援助技術研修、防火管理研修、経営戦略セミナー、給食施設指導研修
10月	救急救命研修、スーパービジョン研修、名古屋市認定調査員現任研修
11月	中堅職員研修、介護技術研修、医療知識研修、労務管理研修、ターミナル研修、社会貢献研修

12月	ユニットリーダー研修、介護技術研修、メンタルヘルス研修、新任職員ステップアップ研修、経営者セミナー
1月	アンガーマネジメント研修、救急救命研修、口腔ケア研修、
2月	排泄ケア研修、介護技術等に関する講習会、認知症介護基礎研修、施設栄養士グループ研修
3月	労務安全衛生講習会

※外部研修予定は主催者の都合及び抽選等により変更することがあります。

※新型コロナウイルスの状況に応じて対応していきます。

内部研修
<p>新入職員研修、外部研修報告会（4月）</p> <p>各委員会主催研修：感染対策委員会研修：年2回以上、 事故防止委員会研修：年2回以上、 褥瘡対策委員会研修：年2回以上、 虐待防止委員会研修：年1回以上、 身体的拘束適正化委員会：年2回、 看取り委員会研修：年2回</p>

3. 活動計画

1 生活相談員

<活動方針>

- ① 空床を極力減らし、稼働率毎月98%を維持できるようベットコントロールしていく。
- ② 適正な介護報酬、加算算定を行う。
- ③ 入居者様及びご家族様への情報提供、情報共有の充実を図る。
- ④ 地域への情報発信及び地域住民との交流の機会を設ける。

<活動内容>

- ・迅速な実地調査、入居手続きができるようご家族様や関係機関との連携を密に行っていく。入院中の方においては状態把握に努め、今後の方針等を早めに検討していく。
- ・申込者数はそれほど変動ないが、入居に至らないケースが増えており慢性的

な待機者数の減少に繋がっている。待機者を確保できるよう申し込みがあった際は、こまめに状況確認し必要に応じショートステイなどの代替え案を提案していく。

- ・介護報酬に関する情報収集に努め、法令順守及び算定要件を熟知し適正な算定を行っていく。また、算定可能な加算がないか確認し、算定見込みのあるものに関しては随時算定及び準備を進めていく。
- ・入居者様・ご家族様の知りたい情報の把握に努め、情報の提供、共有を図っていく。また、入居者様ご家族様の思いや要望に耳を傾け、相談にも丁寧に応じ施設サービスに関するアンケート調査を実施しサービスの向上を図っていく。
- ・今年度も外部との交流や関わりは難しいかもしれないが、状況を見ながら可能な範囲で交流の機会を設けていきたい。

2 看護師

<活動方針>

- ① 年1回（夜勤者は2回）の職員の健康管理を行う。
- ② 嘱託医をはじめとする他職種連携を密にし、入居者様の健康維持管理に努める。
- ③ 看護の質を高め、施設の運営に貢献するよう努める。
- ④ 看護協会、各種研修等へ参加し専門職としての知識・技術の向上に努める。

<活動内容>

- ・入居者様、職員の健康管理を医師と連携し健康診断及び予防接種等の計画・実施・管理を行う。
- ・看取り、機能訓練をはじめ、看護職が関連する加算を算定できるような体制を作る。
- ・看護体制を強化し、入居者様の状態に合わせて適切な処置等を選定するとともに、必要時には治療施設と連携し施設在所日数を延ばすよう努める。
- ・看護職員としての質を高めるとともに、施設職員に知識・技術の還元を行い、施設サービスの質を高める。

3 介護職員

<活動方針>

- ① 入居者様及びご家族様の背景や個々ニーズを理解した上でサービスを

提供する。

- ② ユニット内を安全かつ快適な住空間にする。
- ③ プライバシーの重視、自己決定、選択を可能な限り尊重する。
- ④ 残存能力に着目した自助、自立援助を行う。
- ⑤ ご家族と連携し交流を深め入居者様が情緒的に穏やかに過ごせるように努める、信頼されるケアを行う
- ⑥ 接遇マナーが適切に行われるように研修などを通じて現場での教育を強化する。

<活動内容>

- ・各職種との連携を密にし、全職員が情報を共有し継続的に総合的なサービスを確立する。
- ・事故防止委員会、感染対策委員会を設置し機能させることを目指す。
- ・十分なアセスメントを行い、本人が希望される教養娯楽活動を楽しんで頂く。
- ・各種内部研修、外部研修へ積極的に参加し職員の質の向上を行うとともに、
職員のメンタルケアも実施する。
- ・地域の行事に参加して頂き交流を図る。
- ・認知症ケアの向上を図る。

<教養娯楽>

- ・入居者様の個々の趣味等をリサーチして個別に能力の再発見の機会を作り日々の生活に生きがい、楽しみを見つけ充実した生活を送って頂く。
又、個々の能力を最大限に引き出し機能の維持向上に努める。
- ・共通の趣味を持つ入居者様が複数名いらっしゃる場合はクラブの設置も検討する。
- ・新聞・雑誌・映像コンテンツ等入居者様が退屈をしないように情報媒体を充実させてゆく。

4 介護支援専門員

<活動方針>

- ① 入居者様及びご家族様のニーズに合わせた施設サービス計画書の作成を行う。
- ② 施設サービス計画書が現場で周知されるような体制維持に努める。

- ③ 施設サービス計画書に沿って統一したケアが提供されるような支援を行う。
- ④ アセスメント・モニタリングを行い、現状のニーズを正確に把握し、施設サービス計画書の更新を行っていく。
- ⑤ 自立支援促進に関する評価・支援計画書の作成を行う。

<活動内容>

- ・入居時には各部署連携のもと本人様及びご家族様よりニーズの聞き取りを行い、意向に沿った施設サービス計画書の作成を行う。
- ・作成した施設サービス計画書を本人様及びご家族様に説明し、施設での生活に対してご理解とご協力を得られるよう努めていく。
- ・作成した施設サービス計画書は第4表である24生活シートを記録として活用しケアの統一に活かされるようにしていく。
- ・定期的（6ヶ月に1回）及び本人様の状態が大きく変化した時にはサービス担当者会議を開催し、他職種協働のもと現状にあった施設サービス計画書の作成を行っていく。
- ・他職種（生活相談員、介護課、医師、看護師、管理栄養士）と連携し、入居者様の情報を集め、日常生活がより自律的かつ自立的な生活を送って頂けるようなプランを立案し支援計画書を作成していく。

5 管理栄養士

<活動方針>

- ① 入居者様個人にあった食事の提供を実施し、入居者様の栄養状態の維持・QOLの向上を図る。
- ② 多職種共通理解のもと栄養ケア計画書の作成を行うとともに、施設職員に対し栄養についての理解を深める。
- ③ 他職種共通理解のもと、口腔衛生管理計画書の作成を行う。入居者様の口腔衛生管理に努めるとともに、施設職員に対し口腔衛生についての理解を深める。
- ④ 各種研修に積極的に参加し、専門職としての知識・技術の自己研鑽を行う。

<活動内容>

1. 食事について

- ・行事食、手作りおやつ、食事レク等を検討していく。

- ・個人(嚥下機能・体調・嗜好等)に応じた食事形態の提供を臨機応変に行えるよう、施設職員、給食業者と協議を行う。
- ・毎月1回、給食会議を開催し献立に反映していく。
- ・毎年1回、嗜好調査を実施し、食事の内容と質の向上を目指していく。
- ・胃瘻の入居者様には半固形化かとりみ状の栄養剤を使用し安全な食事提供を行う。
- ・腸内フローラの取り組みの一環として、フローラドリンク（乳酸菌＋オリゴ糖）の提供を継続する。

2. 栄養ケアマネジメントについて

- ・ミールラウンド(摂食状況調査・嚥下機能評価)、体重測定、採血データ等よりモニタリングを行い、各個人に応じた栄養ケア計画書を作成し、各部署連携のもと実践にあたる。
- ・定期的なモニタリングに加え、リスクや状態に変化が見られた時は適宜アセスメントを実施し、栄養ケア計画の変更、各部署への周知を行う。
- ・療養食対象者については嘱託医、各部署と連携を図り、病態に応じた食事の提供を通して原疾患の悪化予防・コントロールに努める。
- ・食事・栄養に係る加算も必要に応じて算定していく。

3. 歯科について

- ・歯科医、歯科衛生士と連携し、入居者様の口腔衛生管理（清潔保持・機能維持）を行う。
- ・歯科に関する研修を実施し（2回/年）、口腔ケア技術、知識の習得を行う。
- ・口腔に係る加算も必要に応じて算定していく。

4. 災害時(地震・食中毒等)の食事提供について

- ・地震等で厨房が使用できなくなった場合には委託業者協力のもと、備蓄非常食を使用し3日間対応する。事態が悪化した場合にも、市場の流通が回復するまで食事を提供していただく。
- ・食中毒等が発生し厨房及び委託業者職員が従事不可能な場合は、魚国総本社よりクックサーブにて食事を提供していただく。
- ・災害時を想定した炊き出し訓練の実施をする。(2回/年)

4. 委員会活動計画

- ・ 事故防止委員会・感染対策委員会・褥瘡対策委員会・虐待防止委員会・看取り委員会
- ・ 研修育成委員会・防災委員会・身体的拘束適正化委員会

それぞれの委員会において定例及び随時開催し、各委員会の役割や活動を通じて、課題や問題点の評価及び見直し、改善を図っていきながらより良いサービスに繋げていけるように取り組んでいく。

5. その他活動計画

B C P（業務継続計画）に関して

新型コロナウイルスも、5月から5類相当に位置づけられることもあり、ウィズコロナとして、より感染リスクは上がると考えた対策を講じるとともに、新型コロナウイルスのみならず、その他の感染症が発生しても、ご利用者様の生活を維持するためのB C Pの感染症編の策定を行う。

また、南海トラフ地震、伊勢湾台風規模災害による施設の被害予測をし、それに対応するための

B C Pの自然災害編の策定も合わせて行っていく。

令和5年度
障害福祉サービス事業所 富田作業所
事業計画

社会福祉法人 富田福祉会

令和5年度 事業計画

1. 基本方針について

障害を持つ人たち一人ひとり、基本的人権を尊重し、処遇の確立を目指すとともに、ご利用者様の人達の持つ可能性の開発を実践し個人の自立、質の高い福祉サービスを拡充することを基本方針として、よりよい施設づくりを推進していく。

2. 利用者の処遇について

- 1) 中、重度の人、また最重度の方にも、生活に必要な基本的生活習慣が、身に付くよう時間をかけて指導し、生活指導の成果を確実なものにしていく。
- 2) ご利用者様一人ひとりが、心身ともに健康で豊かで生きがいのある生活と、自立した生活ができるよう、それぞれの障害の程度にあった、適切な生活指導をする。
また、貴重な生活体験をもてるよう毎月の定例行事や、国民の一般行事を勘案して年間行事を計画する。
- 3) 各ケースに見合った指導計画と指導目標を設定し、ケース会議や勉強会において状況把握をし、より効果的な指導方法を研究していく。

3. 職員の資質向上について

以上の計画を推進し、ご利用者様の処遇の向上を図るために施設外研修で得た情報や知識を伝達講習し、施設内においてはケース会議や勉強会他諸研究を進める。個人においては地道な自己研究をし、全体レベルの向上を図りよりよい施設運営を図る。

令和5年度「虐待防止委員会」の設置をする。

委員長 平松秀明 (管理者)

虐待防止マネージャー 丹羽祐一 (サービス管理責任者)

4. 収支改善のための利用者確保について

4年度の営業活動のなかで、一番の効果を感じたのは、障害者基幹相談支援センター開催の研修・会議等への参加で顔を売り込んでいくことで、利用者の情報を一番でまわして頂きました。今年度も権利擁護部会の会長を引き受けることにして基幹相談支援センターへの信頼を高めていきます。

西養護学校の方には新しい富田作業所のパンフレット配布を進学指導の教員に取り付けて体験研修の呼びかけをしていき、かわら版等の卒業生の近況などを伝えていき先生方に興味をもってもらえるようにしていきます。

引き続きグループホーム専門の事業所との情報交換等で営業かけていくのと就労継続Bの需要も受け入れるように開設の準備を進めます。

5. 施設の整備・補修について

車いすを使わないといけない人が体験に来られましたが、職員2人がかりで移動の対応に取られ大変でした。この方はバリアフリーの問題で入所は見合わせて頂きましたが、今現在の利用者も階段で職員の付き添いが必要な人が6人います、この中には将来階段の上り下りが出来なくなりそうな人もいます。いずれはエレベーターの設置が必要になるときも来るかもしれません。

さらには、トイレでも手すりや段差の解消などが必要になるかもしれません。

4年度には入り口扉、外構の塗装で風水的にいい環境になっているといわれました。

日課

時間	日課 サービス内容
8:30	職員朝礼 利用者登所 送迎サービス開始
9:00	朝の会
9:15	朝の体操
9:20	作業（タオル折り 箱折り 箱詰め等の軽作業）
10:30	休憩 水分補給
10:40	作業
12:00	給食 昼休み 歯磨き指導
13:00	作業 毎週金曜日の午後はレクリエーションを行う
14:30	休憩
14:40	作業 毎週金曜日の午後はレクリエーションを行う
15:30	掃除 片付け
15:45	帰りの会
16:00	退所
17:30	職員終礼

令和 5 年度 年間施設行事予定（案）

月	一般行事	施設行事	
4	昭和の日	・ソフトボール大会 ・レク ・公園清掃	・身体測定 ・誕生会
5	憲法記念日 みどりの日 こどもの日	・市障害者スポーツ大会 ・レク	・身体測定 ・誕生会 ・公園清掃
6		・消防訓練 ・レク	・身体測定 ・誕生会 ・公園清掃
7	海の日	・レク ・夏休み	・身体測定 ・誕生会 ・公園清掃
8	山の日	・レク ・誕生会	・身体測定 ・公園清掃
9	敬老の日 秋分の日	・防災訓練 ・レク ・健康診断(利用者)	・身体測定 ・誕生会 ・公園清掃
10	体育の日	・歯科検診 ・レク ・ソフトボール大会	・身体測定 ・誕生会 ・公園清掃
11	文化の日 勤労感謝の日	・フットボール大会 ・レク ・消防訓練	・身体測定 ・誕生会 ・公園清掃
12		・クリスマス会 ・レク ・冬休み	・身体測定 ・誕生会 ・公園清掃
1	元旦 成人の日	・自治会新年会 ・レク	・身体測定 ・誕生会 ・公園清掃
2	建国記念の日 天皇誕生日	・親子ボウリング大会 ・レク	・身体測定 ・誕生会 ・公園清掃
3	春分の日	・健康診断（利用者） ・レク ・自治会総会	・身体測定 ・誕生会 ・公園清掃

令和 5 年度 研修・会議計画（案）

月	施設内研修・会議	施設外研修（予定）
4	・ 支援員会議 ・ 職員会議 ・ 職員研修会 ・ 年間指導計画	・ スポーツ行事实行委員会 ・ 権利擁護部会
5	・ 支援員会議 ・ 職員会議・職員研修会 ・ 生活指導目標	
6	・ 支援員会議 ・ 職員会議 ・ 職員研修会 ・ 嗜好調査	・ 権利擁護部会
7	・ 支援員会議・職員会議 ・ 職員研修会・生活指導目標	・ 自立支援定例部会
8	・ 支援員会議・職員会議 ・ 職員研修会 ・ 生活指導目標 ・ 個別支援会議	・ スポーツ行事实行委員会
9	・ 支援員会議 ・ 生活指導目標 ・ 職員会議 ・ 職員研修会	・ スポーツ行事实行委員会
10	・ 支援員会議 ・ 後期指導計画 ・ 職員会議 ・ 職員研修会	・ 権利擁護部会
11	・ 支援員会議 ・ 生活指導目標 ・ 職員会議 ・ 職員研修会	
12	・ 支援員会議 ・ 職員会議 ・ 職員研修会	・ 自立支援定例部会
1	・ 支援員会議・生活指導目標 ・ 職員会議 ・ 職員研修会	・ 権利擁護部会
2	・ 支援員会議 ・ 職員会議 ・ 職員研修会	
3	・ 支援員会議・職員会議 ・ 職員研修会 ・ 個別支援会議	・ 障害者福祉サービス事業団体指導 ・ 自立支援総会

※研修予定は都合により変更する場合があります。

令和 5 年度 居宅介護支援事業所松寿苑 事業計画

【事業の目的】

介護保険の理念に基づき、要介護または要支援状態にある高齢者等やその家族の心身状態や置かれている環境、本人や家族の意向等を踏まえ、居宅において自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、適正な居宅介護支援を提供することを目的とする。

【事業運営方針及び目標】

- (1)利用者及び家族の移行を尊重し、可能な限り自宅において個々の有する能力に応じて日常生活を営むことができるよう配慮し支援を行う
- (2)居宅介護支援の提供にあたっては、利用者及び家族の心身状況、おかれている環境等に応じ、利用者の選択に基づいて、適切な介護保険サービス、保健医療サービス及び福祉サービスが提供されるようにする。また特定の種類又はサービス事業者に不当に偏することのないよう公正中立に行う
- (3)事業の実施にあたっては、関係市町村、地域包括支援センター、医療機関、介護保険事業者等と連携を図り、総合的なサービスの提供に努める
- (4)運営基準等法令を遵守し、適正な業務運営を行う
- (5)認定調査の委託を受け実施する際は、所要の知識の研鑽に努め、公正な調査を行う
- (6)介護支援専門員としての資質向上、知識や技術の向上のため研鑽に努める

【事業実施計画】

- (1)ケアマネジメントの提供
 - ・利用者やその家族との信頼関係を構築し、丁寧・迅速・的確に対応する
 - ・運営基準に従い、行うべき業務を適正に実施し、理念に沿った介護計画を作成する
- (2)連携の強化
 - ・多職種、行政、地域との連携強化、協働を図る
- (3)人材育成
 - ・職員間で情報や課題を共有し、事業所全体で問題の解決方法を検討する
- (4)運営管理
 - ・法令や運営基準等の再確認と改正等の新しい情報の収集を行う

【今年度の重点目標】

(1)2024 年度の介護保険制度改正に向け審議が進められている時期のため、動向の把握を把

握し、適切に対応できるように準備を行う。

〈改正案の一部〉

- ・在宅サービスの基盤整備として新たな複合型サービスの創設
- ・介護予防支援の指定対象を居宅介護支援事業所にも拡大する

(2)BCP（業務継続計画）策定

令和 5 年度 居宅介護支援事業所松寿苑 研修計画

【法定研修】

研修名		研修時間	受講対象者
①実務研修		87 時間	介護支援専門員実務研修受講試験に合格した者
専門研修	②専門課程 I	56 時間	原則として実務従事期間が 6 ヶ月以上の者
	③専門課程 II	32 時間	原則として実務従事期間が 3 年以上の者
更新研修	④実務経験者	88 時間	実務経験があり専門研修を受けていない者
	⑤実務経験者	32 時間	実務経験があり専門研修課程 I を修了している者
	⑥実務未経験者	54 時間	実務に就いていた経験がない者
⑦主任介護支援専門員研修		70 時間	業務に関し十分な知識と経験を有し都道府県知事が適当と認める者。専任従事期間 5 年以上の者
⑧主任介護支援専門員更新研修		46 時間	主任介護支援専門員の有効期間が概ね 2 年以内に満了する者で要綱に示される条件に該当する者

・令和 5 年度法定研修受講予定：主任介護支援専門員更新研修 1 名

【その他研修】 ※予定

開催日	主催団体	主な内容
4 月	中川区介護保険事業者連絡会	総会
4 月	いきいき支援センター	主任ケアマネサロン
5 月	いきいき支援センター	法令遵守
5 月	中川区介護保険事業者連絡会	事業者意見交換会
5 月	愛知県シルバーサービス振興会	メンタルケアとモチベーションマネジメント
5 月	中川区医師会・歯科医師会・薬	認知症セミナー

	剤師会	
6 月	いきいき支援センター	介護保険制度改正について
6 月	愛知県シルバーサービス振興会	精神疾患と理解のポイント
7 月	はち丸支援センター	在宅医療介護連携ハンドブック 普及啓発研修
7 月	中川区医師会	在宅医療・介護研修会
8 月	いきいき支援センター	薬剤師との連携
9 月	中川区介護保険事業者連絡会	災害対策研修
9 月	愛知県シルバーサービス振興会	ACP の理解とケアマネジャーの 役割
10 月	いきいき支援センター	成年後見制度と意思決定
10 月	中川区介護保険事業者連絡会	認知症研修
10 月	健康福祉局高齢福祉部介護保 険課	認定調査員現任研修
11 月	中川区医師会	在宅医療・介護研修会
11 月	いきいき支援センター	主任ケアマネ企画研修
11 月	愛知県シルバーサービス振興会	実践者のため「科学的介護」導 入研修
11 月	中川区介護保険事業者連絡会	感染症対策研修
11 月	中川区介護保険事業者連絡会	認知症セミナー・介護フェア
12 月	中川区はち丸在宅支援センター	医師との意見交換会
1 月	いきいき支援センター	民生委員との連携、孤立防止
1 月	中川区介護保険事業者連絡会	権利擁護研修
2 月	いきいき支援センター	民生委員との連携(東部)
2 月	中川区介護保険事業者連絡会	人材育成研修
3 月	愛知県シルバーサービス振興会	利用者の動機づけを促す介護 予防プラン
3 月	いきいき支援センター	ICF の視点と個別性のあるケア プラン作成
3 月	中川区介護保険事業者連絡会	